

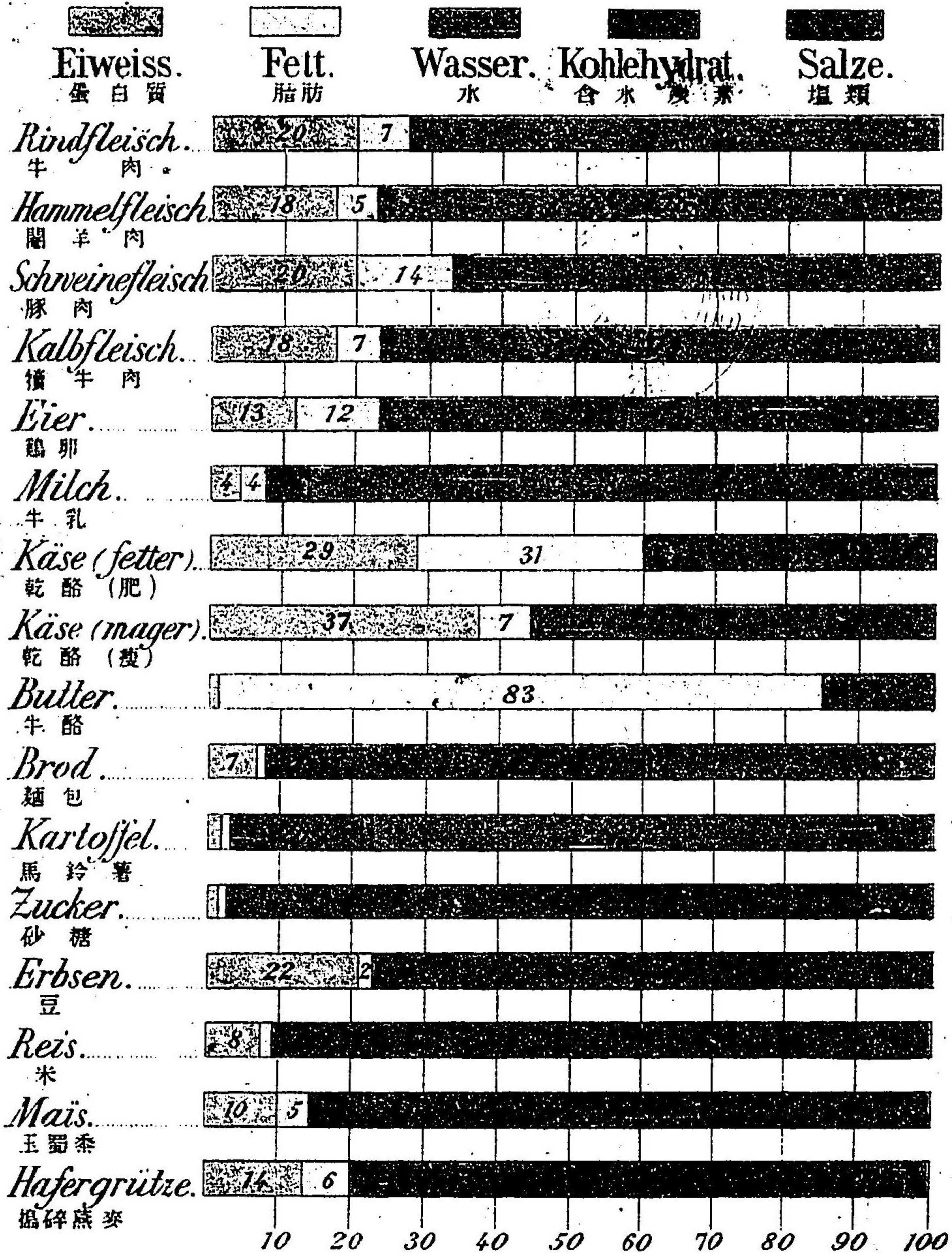
營養品成分比較表

最新治療法

醫學博士張本

必要ナル營養品成分比較表

ZUSAMMENSETZUNG WICHTIGER NAHRUNGSMITTEL.



醫學博士栗本東明纂著



最新治療法

附臟器療法及血清療法

著者藏版

最新治療法自序

歐洲醫術ノ日ニ進ミ月ニ開クルヤ、啻ニ藥物療法ノ
ミナラス、血清療法、臟器療法、器械療法等、皆大ニ備
ハリ、精理殆ント剩ス所ナキカ如シ、余カ歐洲ニ在ル
ヤ、伯林大學醫學樞密顧問官教授ルードルフ、ウヰル
ヒヨー、同フオン、ライデン其他ノ諸教授ニ親炙シ、
居ルコト二年餘畧、歐洲ノ醫學ヲ觀察セリ、昨二十三
年歸朝ノ後、竊カニ本邦ノ醫界ヲ窺フニ、新治療法ニ
於ケル此ヲ彼レニ比シテ遜色ナシト云フ可カラス、
今ヤ列國對峙ノ時ニ方リ、須ラク歐洲日進ノ醫學ヲ

詳悉シ、早ク之ヲ我邦ニ應用シ切瑳研究以テ彼ヲ凌駕センユトヲ企圖スルハ蓋シ本邦醫家ノ急務タル可シ、是余カ自ラ揣ラス奮テ此書ヲ著ハス所以ナリ、濟世ニ志アル者此書ヲ讀テ同感ヲ表スルアラハ余カ本懷亦何ソ之ニ過ン、

明治三十四年十二月

牛込砂土原街寓居

醫學博士 栗本東明識

最新治療法

目次

いノ部

「イヒトフォルム」	一頁
「イヒタルビン」	二
「イヒチオール」	三
「イヒチオール」代用品	四
「イヒチオール」坐藥	五
陰萎最新療法	五
遺尿最新療法	六
「インフルエンザ」最新療法	六

「インゲストール」.....六頁

「イトロール」〔林檎酸銀〕.....七

「イトロールグルトキッド」膠囊.....八

「イトロール」小桿.....九

ろノ部

肋膜炎最新療法.....一〇

傻麻質斯最新療法.....一一

「ロレチン」.....一二

「ロレチン」那篤留謨錠劑.....一二

狼瘡最新療法.....一三

はノ部

微毒治療血清.....一三

「ベドロー」氏病最新療法.....一四

白陶土.....一四

肺出血新療法.....一七

「バルナツシヤ、バルストリス」.....一七

肺炎最新療法.....一八

麥角流動越幾斯.....一八

白帶下最新療法.....一九

「ハマメーリス」製劑.....一九

「ハゼリン」.....一九

「ハマメーリス」流動越幾斯.....二〇

白血病最新療法.....二一

「ババイン」.....二一

流動「バラフヒン」……………二二

「バラフラスト」……………二三

破傷風抗毒素最新製劑及用法……………二五

白屈菜水製越幾斯……………二七

微毒最新療法……………二九

「バルアルデヒット」……………三一

にノ部

乳酸……………三二

乳汁分泌催進藥……………三四

「ニコチン」石鹼……………三四

鹽酸「ニルワニン」……………三六

肉代用品(最新)……………四〇

乳酸「ストロンチウム」……………四二

ほノ部

防腐藥(内用)……………四二

防腐藥(最新)……………四三

「ホルチノール」蒸發燃燒器……………四七

膀胱炎最新療法……………四八

鹽酸「ホロカイン」……………四八

へノ部

「ヘマチン、アルブミン」……………五〇

「ヘマトール」……………五一

「ヘモフォルム」……………五二

「ヘモグロビン」……………五二

「ヘモスタート」	五二頁
「ヘバラデーン」及乾燥肝	五三
「ヒロイン」(純粹)	五三
鹽酸「ヒロイン」	五七
「ヘルペス、トンスーランス」 <small>寄生性 最新療法</small>	六〇
「ヘトール」(肉桂酸曹達)	六〇
「ベンツオナフトール」	六三
「ペロニン」	六三
「ペルラキソール」	六五
「ペトロズルフオール」	六五
「ヘナチエチン」	六六
鹽酸「ヘノコルルム」	六八

「ヘジン」	六八
扁桃腺炎最新療法	六九
偏頭痛最新療法	七〇
ヘーデン滋養物質	七一
便秘最新療法	七二
「ベンツオゾール」	七二
「ペスト」治療血清	七三
「ペスト」豫防液	七三
こ の 部	
豆穀	七四
糖尿病性昏睡最新療法	七五
糖尿病最新療法	七五

「ドルミオール」.....七六頁
「ドウルチン」.....七七
「トロバコカイン」.....七八
凍傷最新療法.....八二
吐血療法.....八三
盗汗最新療法.....八三
「ドフタール」.....八三
「トイクリン」.....八三
「トリール」.....八五
「トラホーム」最新療法.....八五
「トラウマトール」又沃度「クレデン」ト稱ス.....八五
「トリオナール」水(炭酸含有).....八六

「トリトール」.....八七
「トロボン」.....八七
「トリヲナール」.....八八
吐瀉病最新療法.....八九

ちノ部

腸窒扶斯治療流動越幾斯.....九〇
腸窒扶斯治療血清.....九二
「デオニン」.....九三
腸加答兒療法(最新).....九五
「チフロールチフェニール」.....九六
「チウレチン」.....九七
鎮吐藥(最新).....九八

「チナモーゲン」……………九八

「チャンポー」葉……………九九

「チャンブル」製劑……………一〇〇

重炭酸曹達……………一〇一

鎮痛藥(最新)……………一〇三

沈靜藥(最新)……………一〇五

條蟲最新療法……………一〇六

「チオコール」……………一〇六

「チオフォルム」鹽基性「チオザリチール」酸ビスミット……………一〇七

「チオール」……………一〇八

「チオジナミン」……………一〇九

乾性「チレオイデン」……………一一〇

「チュロヨチン」……………一一一

腸窒扶斯最新療法……………一一一

直腸「タンボン」……………一一二

「チノール」……………一一二

「チユラデン」……………一一三

りノ部

利尿藥(最新)……………一一三

磷酸鹽尿最新療法……………一一四

磷中毒(急性)……………一一四

「リチネ」油……………一一四

「リチネ油、トリトール」……………一一四

淋疾最新療法……………一一五

「リヤントラール」	一〇六頁
「リグノズルフ ^非 ツト」	一一六
「リナチン」	一一七
「リチエトール」	一一七
淋巴腺腫脹	一一八
結核性淋巴腺腫療法	一一八
「リゾール」	一一八
磷酸「グリセリン」那篤留謨	一二一
磷酸那篤留謨	一二二
硫酸那篤留謨	一二三
緑内障最新療法	一二四
「リバニン」	一二四

ぬノ部

「ストロール」	一二五
「ストローゼ」	一二五

るノ部

「ルース」芳香流動越幾斯	一二五
--------------	-----

をノ部

鹽酸「オイカイン、アルファ」	一二七
鹽酸「オイカイン、ベータ」	一二八
「オイヒニン」	一三二
「オイデルモール」	一三三
「オイラクトール」	一三四
「オイナトロール」	一三四

「オイロピン」……………一三四頁

「オイロフエン」……………一三六

横痃療法(最新)……………一三六

鹽酸「オイフタルミン」……………一三六

橄欖油……………一三八

惡咀療法……………一三八

單寧酸「オレキシン」……………一三八

「オレキシン、パーゼ」……………一三九

「オルフォール」……………一四〇

鹽基性「オルトフォーラム」……………一四〇

「オルトフォーラム、ノイ」(新オルトフォーラム)……………一四三

「オワチン」……………一四四

わノ部

「オキサフォール」……………一四四

「オキシカンフル」……………一四五

「オイカジン」……………一四七

ワレンチン氏肉汁……………一四七

「ワリドール」……………一四八

「ワゾゲン」(ワゼリナ、ヲキシゲナタ)最新製劑……………一四九

かノ部

樺樹葉茶……………一五〇

可溶性磷酸「ビスミット」……………一五一

甘汞……………一五三

「カンフォールオキソール」……………一五五

「カプシチン」	一五五頁
「カプジークム」硬膏	一五五
「カプトール」	一五六
「カルブンケル」最新療法	一五七
癌腫最新療法	一五八
「ガウルテリヤ」油	一五九
喀血新療法	一五九
可溶性安息香酸酸化汞	一六〇
「カーベルヤウ」肝越幾斯糖	一六〇
「カルノー」	一六一
角膜炎最新療法	一六二
癌血清	一六三

肝製劑	一六三
肝油代用品	一六四
肝油「トリトール」	一六五
喀血新療法	一六五
疥癬最新療法	一六五
甘味藥(最新)	一六六
「カゼイン」軟膏	一六六
下腿潰瘍最新療法	一六九
乾癬最新療法	一六九
よ　　ノ　　部		
沃度「アルバチット」	一七〇
沃度蛋白製劑	一七一

「ヨチピン」及「プロミピン」	一七一
沃度仿謨代用藥	一七四
沃度「フォルモゲニウム」	一七五
沃度「ガリチン」	一七五
沃度「クレジノーネ」	一七六
沃度兒「テトラ」沃度「ビルロール」	一七七
「ヨドジン」製劑	一七九
沃度「チユリン」	一七九
沃度「ワゾゲン」	一八一
腰叢神經痛最新療法	一八三
沃度丁幾	一八四
痒疹最新療法	一八四

たノ部

脱毛藥	一八五
丹毒療法(最新)	一八五
膽石療法(最新)	一八五
大楓子油	一八六
帶狀「ヘルペス」(疼痛ニ對スル)療法	一八八
多汗症	一八八
單寧代用藥(最新)	一八九
「タンノフォルム」	一八九
「タンノン」	一八九
「タンノピン」(「タンノン」)	一九〇
「タノコル」	一九〇

「タノザール」……………一九一頁

丹毒治療液……………一九二

「タンナルビン」……………一九三

「タンニーゲン」……………一九四

れノ部

「レウローゼ」……………一九五

「レニガルロール」……………一九五

「レゾルビン」……………一九七

「レゾルチン」……………一九八

そノ部

足汗療法……………一九九

「ゾツヲヨドール」水銀……………一九九

搔痒……………二〇〇

「ゾツオヨドール」加里……………二〇〇

「ゾツオヨドール」那篤留謨……………二〇一

臓器療法製劑……………二〇一

臓器液療法……………二〇三

「ゾルウエオール」……………二〇七

「ゾツオヨドール」製劑……………二〇七

「ゾツオヨドール」鼻感冒散……………二〇八

「ゾマトーゼ」……………二〇八

つノ部

痛風療法(最新)……………二〇九

痛風液……………二〇九

頭痛最新療法……………二一〇

「ツツケリン」……………二一〇

新「ツベルクリン」コッホ氏……………二一一

ねノ部

小兒粘液水腫最新療法……………二一五

なノ部

「ナフタラン」……………二一五

「ナフトール、ワゾゲン」……………二一七

「ナフトキソール」……………二二〇

軟性下疳最新療法……………二二〇

らノ部

「ラガーデン」(皸裂(乳房ニ來ル))……………二二一

「ラルギン」……………二二二

癩病最新療法……………二二五

卵巢製劑……………二二六

「ラクトフェニン」……………二二六

むノ部

無血虫刺傷療法……………二二七

うノ部

ウキルリヤムソン氏乳(糖尿病ニ用ユ)……………二二七

「ウロチン」……………二二九

「ウロトロピン」……………二三〇

「ウルチコール」……………二三一

「ウレア」(尿素)……………二三一

「ウレタン」……………二三二

 ゐノ部 (いノ部ヲ見ル可シ)

 のノ部

「ノゾフェン」……………二三四

 おノ部 (をノ部ヲ見ル可シ)

 くノ部

格魯兒「アルバチッド」……………二三五

「クリザロビン」代用薬……………二三五

枸橼酸……………二三六

「クリスタルローゼ」……………二三六

關節炎最新療法……………二三六

格魯兒加爾基……………二三六

格魯兒加爾叟謨……………二三七

「グルテクトーン」……………二三七

「グルトイト」膠囊……………二三七

「グリセリン」……………二三九

「グリセリン」肛門坐薬……………二三九

「グアヤチエチン」……………二四〇

炭酸「グアヤコール」即チ「ドラタール」……………二四二

纈草酸「グアヤコール」……………二四三

「グアヤコール、ワゾゲン」軟膏……………二四三

「グランドレーン」錠劑……………二四五

「グラウクス、コルニクラートウス」流動越幾斯……………二四六

過滿俺酸加里……………二四七

「クリヲヒン」	二四八
過滿俺酸那篤留謨	二四九
佝僂病最新療法	二五〇
過酸化水素製劑	二五一
火傷最新療法	二五二
一半格魯兒鐵	二五三
や	
マ	
マノ部	(記載ス可キモノナシ)
麻羅利亞最新療法	二五四
「マラリン」	二五六
麻醉法	二五六
新麻醉藥	二五八

けノ部

「マラキン」	二五八
けノ部	
結膜炎最新療法	二五九
月經困難最新療法	二五九
血液製劑(最新)	二五九
結締織炎最新療法	二六〇
「ゲラントウム」	二六一
「ゲオノート」(纈草酸「グアヤコール」)	二六一
解熱藥(最新)	二六二
「ケレーン」	二六三
炭酸結列阿曹篤(一名「クレオソタール」)	二六三
結列阿曹篤汁(「シヨワイシシゲル」)	二六七

結列阿曹篤「ワゾダン」軟膏……………二六八頁
 健胃藥(最新)……………二七〇
 結列阿曹篤代用藥……………二七一
 血清療法(即チ「アンチトキシシン」療法)……………二七二
 結核最新療法……………二七三
 「ケレヲゾリット」……………二七五

ふ
ノ
部

「フェルリチン」……………二七六
 「フェルレミン」……………二七六
 「フェルロピリン」……………二七七
 「フェルロゾール」……………二七八
 「フライシユザフト」(ブロー)……………二七九

「フオルマーゲン」……………二七九
 「フオルムアルデヒット」……………二八一
 「フオルマリソ」……………二八一
 「ブロームエチール」……………二八一
 「プロミピン」……………二八二
 舞蹈病最新療法……………二八三
 副睪丸炎最新療法……………二八三
 「フオルモール」……………二八三
 「フルンケル」最新療法……………二八五
 「プランタン」……………二八六
 「ブラスモン」……………二八六
 「プロタルゴール」……………二八七

「ファンゴー」	二九一
「フチジス」最新療法	二九二
「ブルウ ^ホ ス、グチコロール」(皮色粉)	二九二
副腎製劑	二九三
「プロタルゴール」小桿	二九六
「プロテクチン」	二九六
「プーロト」	二九七
こ の 部	
肛門裂傷最新療法	二九七
膠性銀小桿	二九七
亢奮藥(最新)	二九七
古加因代用藥	二九八

鹽酸古加因	二九八
「コルラルゴールム」	二九九
「コルリガミナ」	二九九
枸橼酸「コルヌチン」	二九九
「コザプリン」	三〇〇
呼吸困難最新療法	三〇一
紅疹療法(最新)	三〇一
「ゴノロール」	三〇一
枯草熱最新療法	三〇二
峯丸炎最新療法	三〇三
喉頭潰瘍最新療法	三〇三
骨髓製劑	三〇四

「コラニン」……………三〇五頁

「コーラ」製劑……………三〇六

甲狀腺腫最新療法……………三〇六

甲狀腺製劑……………三〇七

硬皮症療法……………三一〇

峯丸製劑……………三一〇

紅色陰癬最新療法……………三一〇

（二）ノ部

エールレー氏桿……………三二二

「エーカ」沃度仿謨……………三二二

「エビデルミン」……………三二五

「エルゴチノール」(リクオル、アンモニ、エルゴチニ)……………三二六

依的兒(アルデヒート)ヲ合マザル者……………三一八

「エチールプロミット」……………三一九

「エチールクロリット」……………三一九

營養品製劑……………三二一

「エウオニミン」……………三二一

「エキサルギン」……………三二二

てノ部

鐵「ソマトーゼ」……………三二三

癩癩最新療法……………三二四

「デキストロフォルム」……………三二五

「テタヌス、アンチトキシシン」……………三二五

癩風最新療法……………三二五

「テルビノール」……………三二六
あ の 部

「アコイン」……………三二七
「アクチノミコーゼ」療法……………三三三
「アクトール」(乳酸銀)……………三三三
「アドヘジウム」(絆創膏)……………三三四
「アイオデン」……………三三四
「アイロール」……………三三五
「アルカルノーゼ」……………三三六
亞爾簡保兒綳帶……………三三七
「アルゾール」……………三四〇
「アルムノール」……………三四一

「アネミー」療法(最新)……………三四二
「アネジン」(一名「アネゾン」)……………三四二
「アイゴン」製劑……………三四三
「アレトリス、コルチアール」流動越幾斯……………三四九
「アスピリヂス、スピヌロージス」越幾斯……………三四九
「アナルゲン」……………三五〇
「アネゾン」……………三五一
「アンギーナ、バステルレン」……………三五一
「アンチノチン」……………三五二
「アンチロイマチン」即チ「フロール、ロエミン」……………三五二
「アンチツツシン」……………三五三
「アポリチン」……………三五四

「アルゴニン」.....三五五_頁
「アルゲンタミン」.....三五五
「アスピリン」.....三五六
「アステトール」.....三五七
亞麻仁茶.....三五八
亞片中毒(急性).....三五九
亞鉛「アルムノール」(或ハ「チノール」).....三五九
「アガリチン」.....三六〇
「アリストール」.....三六一
「アザプロール」.....三六三
惡臭性鼻炎最新療法.....三六三
「アミノフォルム」.....三六四

さノ部

撒里失兒酸迷知兒.....三六四
「サグラダ」越幾斯錠.....三六八
「サグラダ」バンチルレン.....三六九
「サラチエトール」.....三六九
撒里失兒硬膏.....三七五
撒里失兒酸代用品.....三七七
「ザリゲニン」.....三七七
「ザリピリン」.....三七九
「ザロール」.....三八〇
「ザロフェン」.....三八〇
「サロサントール」.....三八一

「サナトローゲン」	三八二頁
「ザングイノフォルム」	三八三
「ザノーゼ」	三八三
酸素(吸入用トス)	三八四
催眠薬(最新)	三八八
「サルウ ^サ ヤ ^ヤ 」 ^丁 幾	三八九
き の 部	
狂犬病豫防注射法	三九〇
局所麻醉薬(最新)	三九三
銀製劑	三九五
氣管支喘息	三九五
氣管支加答兒	三九五

祛痰薬(最新)	三五九
規那酸	三九六
規尼涅代用薬	三九六
鹽酸規尼涅	三九七
纈草酸「グアヤコール」	三九八
膠綑帶「ゴルリガミナ」	三九九
膠桿「グルテクトーン」	三九九
蟻蟲最新療法	四〇〇
吸收薬(最新)	四〇〇
胸腺製劑	四〇一
強壯薬(最新)	四〇二
銀軟膏「クレーデ」氏	四〇二

「キセロフォルム」	四〇四頁
ゆノ部	(記載ス可キモノナシ)	
めノ部		
面麩最新療法	四〇九頁
綿馬越幾斯代用品	四〇九
「メントール」	四〇九
「メントール」沃度兒	四一〇
「メントキソール」	四一〇
「メルクリオール」	四一〇
「メチューレン」青	四一一
「メチューレン」紫	四一三
みノ部		

「ミエルトル」越幾斯加「ミエルトラ」	四一三
「ミエトローゼ」	四一四
「ミグロール」	四一四
「ミエレーン」	四一四
「ミグレニン」	四一四
しノ部		
心胸絞搾痛最新療法	四一五
初生兒膿漏眼最新療法	四一六
消毒藥最新 <small>(手及器械ニ用ユル者)</small>	四一六
消毒藥最新 <small>(創面及身體空洞ニ用ユル者)</small>	四一七
止渴劑	四一七
消化不良最新療法	四一八

濕疹療法(最新).....四一八頁

虱療法(最新).....四二一

酒躰鼻最新療法.....四二一

條蟲「トリートル」.....四二一

止血最新藥.....四二二

樹脂桿.....四二三

心臟最新藥.....四二五

昇汞.....四二六

食鹽液(生理的ノ).....四二九

衄血最新療法.....四三〇

腎臟炎最新療法.....四三〇

神經痛最新療法.....四三三

神經衰弱最新療法.....四三三

腎疝痛最新療法.....四三四

腎臟製劑.....四三四

腎石最新療法.....四三五

心悸亢進療法.....四三五

子宮周圍炎及其附屬機關疾病療法.....四三五

樟腦酸.....四三五

浸潤麻醉錠劑.....四三六

止汗療法(最新).....四三七

「シロリン」.....四三七

「シチギウム、ヂャンボラーヌム」.....四三七

蕁麻疹最新療法.....四三九

子宮出血最新療法	四三九
齒科最新特效藥	四四〇
實布的里治療藥	四四一
ゑの部	
ひの部	
(えの部ニ入ル)	
「ビール」醱酵素	四四六
貧血劑(最新)	四四八
「ビスマタン」	四四九
「ヒナフトール」	四四九
「ヒノゾール」	四五〇
「ビペラチン」	四五一
蓖麻子油(佳味ノ)	四五三

皮膚瘙癢	四五三
「ヒドラゴギン」	四五三
「ヒルゴールム」	四五五
「ヒステリー」最新療法	四五六
百日咳最新療法	四五七
脾脫疽最新藥	四五七
脾臟製劑	四五七
瘰癧療法(最新)	四五九
「ピオクタニン」	四五九
「ピラミドン」	四六〇
「ピロフォルム」	四六〇
「ピロガルロール」代用品	四六一

鼻感冒最新療法……………四六一頁

「ヒルゴール」軟膏……………四六一

結晶純鹽酸「ヒドラスチニン」……………四六二

も の 部

毛髮最新薬……………四六二

「モルリン」……………四六三

慢性莫兒比涅中毒最新療法……………四六三

莫兒比涅代用品……………四六三

急性莫兒比涅中毒療法……………四六四

せ の 部

石炭酸……………四六四

石灰水……………四六七

喘息最新療法……………四六七

喘息散(ノイマキエル氏法)……………四六九

硫酸「セリドニン」……………四七一

攝護腺炎最新療法……………四七一

攝護腺肥大最新療法……………四七一

攝護腺製劑……………四七二

石鹼精……………四七二

腺病薬(最新)……………四七四

「セボロエ」(皮脂)最新療法……………四七五

「セルワトール」石鹼……………四七五

脊髄勞最新療法……………四七六

赤痢治療血清……………四七六

最新治療法目次終

赤痢豫防接種法……………四七七

すゝの部……………

「ストレプトコッケン」治療血清……………四七八

「スペルミーンム」……………四八〇

水腫療法(最新)……………四八〇

「スコット」乳菓……………四八一

腺臓製劑……………四八二

水銀「ワヅゲン」軟膏……………四八三

「スチユプチチン」……………四八四

「スコルブート」最新療法……………四八六

「ズプラチン」……………四八六

最新治療法

醫學博士 栗本東明纂著

部

○「イヒトヲオルム」Ichthoform

沃度仿 謨代用 藥

本藥ハ無臭無味ノ粉末ニシテ方今獨逸ニ於テ沃度仿謨ノ代用品トシテ創傷面濕疹、子宮頸管加答兒等ニ應用セラレ又結核性腸加答兒、腸管閉鎖、廣汎性腹膜炎、盲腸周圍炎并ニ他ノ腸疾病ニ稱用セララル

(用量) 内服ニハ絶エテ有害副作用ヲ起スコトナク一日八、〇ヲ用ヒ得ルモノトス

結核性 腸加答 兒藥 腸疾 患 藥

(三)ノ部

○「イヒタルビン」 Ichthalbin

本藥ハ「イヒチヨール」ノ蛋白化合物ニシテ其四、〇中三、〇ノ「イヒチヨール」ヲ含有シ灰白褐色殆ント無味無臭ノ微細ナル粉末ナリ、胃中ニ於テ溶解スルコトナク内用スルモ「イヒチヨール」ノ如ク消化障害ヲ起サス反テ食慾ヲ亢進セシメ一般強壯ノ效ヲ奏ス、ハイデルベルヒノドクトル、ザツクハ内用及二%ノ番法及撒布藥トシテ多量ノ硫黃ヲ含有スル爲メ屢、炎性ノ皮膚病殊ニ濕性濕疹并ニ蕁麻疹及酒齶鼻ニ治效ヲ收メタリト云ヒ、又ドクトル、ホンブルゲルハ身體衰弱ヲ惹起スル多發性「フルンケル」ノ小兒ニ内用セシメ、ドクトルオルフベルグハ血管ヲ收縮シ且止痛ノ效アルヲ以テ血管新生ヲ伴ヘル腺病性角膜炎及綠内障ニ稱用セリ

濕疹藥

蕁麻疹藥

酒齶鼻藥

腺病性角膜炎藥

綠内障藥

(用量) 内用、小兒ニハ〇、一乃至〇、五大人ニハ半乃至一茶匙宛一日二乃至三回食前ニ與フ

○「イヒチナオール」 Ichthyol

肛門裂傷藥

ドクトル、コーニツケルハ肛門裂傷ノ療法ニ本藥ヲ稱用セリ、即チ患部ヲ前以テ古加因ニ由テ無痛性トナシ然ル後稀薄セサル純品ヲ綿球又ハ硝子棒ヲ以テ塗抹ス可シ、最初ハ毎日後ニハ隔日ニ此法ヲ反復ス可ク、蓋シ腐蝕ノ爲メ發セル灼痛ハ漸次ニ増生シ來レル痂皮ニ由テ消散スルモノトス、施術後ハ時々下劑ヲ與ヘ軟便ヲ下泄セシム可シ、治癒ハ常ニ八日乃至十二日ヲ要ス、其他ドクトル、ウエルトハキンベルハ大人ノ肺結核ニ「イヒチヨール」ノ内服ヲ稱揚セリ、同氏ノ說ニ由レハ本藥劑ノ爲メ食氣亢進ヲ來スモノナリト其處方左ノ如シ

治肺藥

陰脣瘡
痒療法

處方

「イヒチオール」

五、〇

蒸餾水

五、〇

右一日三回一乃至二乃至五乃至十滴ヲ一小盞ノ水ニ和シ
食後ニ與ヘ漸次増量セシム

輒近本藥ハ外用トシテ十五%ノ軟膏或ハ十%ノ水溶液トナシ
屢々陰脣瘡痒ニ稱用セラル、殊ニ妊娠時ニ發生スルモノニ
於テ然リトス

○「イヒチオール」代用品 Ichthyol-Ersatzmittel

一、「イヒタルピン」

(内用)

二、「ベトロズルフオール」

(外用)

三、「チオール」

(外用)

以上各藥ノ條下ニ就テ見ヨ

○「イヒチオール」坐藥 Ichthyol-Suppositorien

慢性攝
護腺炎
療法

本品ハ「イヒチオール」フアンモニヤ〇三乃至〇六乃至〇七五
柯々阿酪二、〇乃至二、五ヲ密混シテ製シタルモノニシテドク
トル、ア、フロキデンベルグハ毎朝夕此一坐藥ヲ慢性攝護
腺炎患者ニ用ヒ初メハ〇、三ヨリ漸次増量セリ

ドクトル、フロキデンベルグハ「イヒチオール」ヲ應用シテ毎回
多クハ驚ク可キ短時間ニ病勢ノ減退又ハ上圍時ノ疼痛、陰部
ノ壓感、尿意頻作等自覺的困雜ノ全治ヲ見タリト云フ

○陰萎最新療法 Impotenz-Mittel, neueste

一、ガツセン氏器械 (説明ヲ略ス)

二、「スペルミースム」

三、 鞣丸製劑

以上各藥品ノ條下ニ就テ見ヨ

○遺尿最新療法 Incontinentia urinae, neueste Mittel
「ルース」芳香流動「エキス」ノ部ヲ見ヨ

○「インフルエンザ」最新療法

Influenza-Mittel, neueste

一、「アンチロイマチン」 (塗擦用)

二、「ザリピリン」

三、「ザロフエン」 (神經性「インフルエンザ」ニ

用ユ)

以上各藥ノ條下ニ就テ見ヨ

○「インゲストール」 Ingestol

吐瀉病藥

本品ハ舍利鹽二、五芒硝一、五硫酸加里一、○酸化麻屈涅矢亞○、
五食鹽○、七林檎酸鐵○、○一依的兒精○、一「グリセリン」二、○
芳香液一○○○ノ合劑ニシテ多クノ醫家ハ無害藥トシテ吐
瀉病ニ之ヲ稱用ス

(用量) 大人ニハ一日二回一赤酒盞量ヲ與ヘ一年未滿ノ小兒ニ
ハ一回半茶匙乃至一茶匙一年以上ノ小兒ニハ半乃至一食匙宛
ヲ與フ

○「イトロール」 (林檎酸銀) Ictol

本藥ハ沃度仿謨ノ代用品トシテ創面撒布藥ニ稱用セララル、近
來ハ一、○乃至四、○ヲ八○○○、○ノ水ニ溶解シ褐色壞ニ貯ヘ
器械、創面、身體空洞ノ消毒藥トシテ用ヒラレ、又急性尿道
加答兒ノ注射藥トシ或ハ軟性下疳殊ニ混合性下

消毒藥

軟性下
疳藥

「トラホ
ーム」藥

結膜炎
藥

齒腔消
毒藥
治淋藥

疳ノ塗抹藥トシテ採用セラル、但シ此場合ニハ横痃ノ發生ヲ豫防スルノ效アリトス、ドクトル、ラツアル、ネナドウキクスハ「トラホーム」ニ該藥ヲ稱用セリ、其他ドクトル、オノルグ
ルハ該藥ノ純品ヲ粉末トシテ初生兒膿漏及淋毒性結膜炎ニ使用シ偉效ヲ奏セリト、即チ一日一回粉末ヲ撒布シ兼テ水罨法ヲ施シ昇汞水或ハ「イトロール」溶液ヲ以テ極メテ精密ニ消毒スルトキハ六日乃至十八日ニ全治ヲ見ル者トス、尙ホ齒科醫エム、ヒルレルハ齒腔ノ消毒藥トシテ本藥ヲ稱用セリ、又多クノ醫家ハ急性尿道加答兒ニ「イトロール」注射療法ノ確效ヲ奏シ且尿道粘膜炎ヲ刺戟セサルヲ以テ好シテ之ヲ用ユ

○「イトロール」グルトキツド「膠囊」

Itrrol-glutoidkapseln

腸防腐
藥

消毒藥

一膠囊中ニ〇、一ノ「イトロール」ヲ含有シ「プロフェツソルザア
リー」ハ腸管ノ腐敗、下痢及歐洲「コレラ」ニ對シ腸管防腐藥トシテ稱用セリ

(用量) 大人ニハ一日數回一箇宛ヲ與ヘ、一日量一、〇(三日以上連用ス可カラス又全量二、ニヲ越ユ可カラス、斯ノ如クスレハ本藥ヲ服用スルモ決シテ皮膚ノ黒變ヲ來スコトナシ

○「イトロール」小桿 Itrrolstäbchen

「イトロール」小桿ハ「イトロール」ニ對シ百乃至五十ノ柯々阿酪ヲ以テ製シタルモノニシテ應用ニ際シ刺戟ヲ與ヘス、故ニ尿道ノ傳染性疾患ニ稱用セラレ又癭管、子宮等ノ消毒藥トシテ用ヒラル

(使用法) 先ツ患者ニ排尿セシメ「ワゼリン」ヲ塗リタル小桿ヲ「カテーテル」ト同一ノ方法ニ由テ挿入シ、尖端患部ニ達スレハ該桿ノ溶融スル迄(凡ソ五分間)陰莖ヲ上位ニ保チ其壓迫ヲ避ケ僅少ノ脱脂綿ヲ以テ尿道口ヲ纏絡シ衣服ノ汚染ヲ防ク可シ、而シテ此療法ノ第一日目ニハ通常分泌物ノ増加スルヲ常トス

ろノ部

○肋膜炎最新療法 Pleuritis, neueste Mittel

- 一、「アスピリン」(乾性及滲出性肋膜炎ニ用ユ)
 - 二、「ザラチエトール」(乾性肋膜炎ニ用ユ)
- 以上各藥品ノ部ヲ見ヨ

○僂麻質斯最新療法

Rheumatismus-Mittel, neueste

- 一、「アナルゲン」
- 二、「アンチロエマチン」(塗擦薬トス)
- 三、「アスピリン」(急性關節僂麻質斯ニ内用ス)
- 四、「炭酸」グアヤコール「専ラ關節ノ疾患ニ内用ス)
- 五、「グアヤコール、ワゾゲン」軟膏
(慢性僂麻質斯ニ塗擦薬トス)
- 六、「撒里失兒酸、メチユール」(外用)
- 七、「ザラチエトール」
(急性及慢性僂麻質斯ニ内用ス)
- 八、「ザリゲニン」(急性關節僂麻質斯ニ内用ス)
- 九、「ザリゲニン」軟膏

(流動「グアヤコール」ト和シ慢性癱瘓質斯ノ
塗擦薬トス「グアヤコール」リゾゲン「軟膏」
部ヲ参照セヨ)

十、「ザリピリン」

十一、「ザロヘン」

十二、「ザロール」

以上各藥品ノ部及ヒ腰叢神經痛療法ノ部ヲ見ヨ

○「ロレチン」 Loretin

本薬ハ淡黄無臭、水及亞兒箇保兒ニ溶解シ難キ結晶様粉末ニ
シテ沃度仿謨代用品トシテ用ヒラル

○「ロレチン」那篤留謨錠劑

Loretin-Natrium-Tabletten

消毒薬

本錠劑ハ一個一、〇ノ重量ヲ有シ「ロレチン」ト炭酸那篤留謨ヲ
含ムモノニシテ其十個ヲ一〇〇〇、〇ノ温湯ニ溶解シ外科器
械及手ノ消毒ニ用ヒラル

○狼瘡最新療法 Lupus-Mittel, neueste

一、「フロロフォルム」(内用)

二、過満俺酸加里 (局所外用)

以上各薬ノ條下ニ就テ見ル可シ

は、ば、ばノ部

○微毒治療血清 Antisyphilis-Serum

本血清ハリツシエー及ヘリクートルノ法ニ由テ第二及第三期微
毒患者ノ血液ヲ注射シタル動物ヨリ得タル者ニシテ微毒ニ用
ヒラル、特ニ水銀劑ノ效ヲ奏セザル場合ニ用ヒテ最モ效アリ

ト云フ

此微毒治療血清ヲ應用スルニ際シテハナイセルノ言ヲ參考スル最モ必要ナリトス、即チ同氏ハ理論上微毒ニ向テ有望ナル本血清療法モ目下尙ホ未タ實地上確效ヲ見ズト云ヒ又ドクトル、アルノルド、サツクモ之ニ賛同セリ

(用量) 皮下殊ニ臀部ニ隔日一回二、〇ヲ注射ス

○バセド―氏病最新療法

Basedow-Krankheit, neueste Mittel

沃度「チユリン」、副腎製劑、甲狀腺製劑ノ部ヲ見ヨ

○白陶土 Bolus alba

白色無臭ノ廉價ナル粉末ニシテ乾燥及防臭ノ效ヲ有シドクトル、ユリウス、スツンプハ縫合創面并ニ縫合セザル不規則ノ挫裂性皮膚創面及下腿潰瘍ノ防腐性撒布藥トシ或ハ慢

防腐藥

挫裂性皮膚創

藥

下腿潰瘍藥

性鼻加答兒ノ吹入藥トシテ熱心ニ賞用セリ

ドクトル、ランゲマツクハ總テスツンプノ報告ニ賛同スルモ同氏ハ尙ホ白陶土ニ於ケルニケノ不良ナル副作用ヲ證明セリ、此副作用ハ唯タ第一期癒合ヲ以テ治癒スル創面ニノミ現ハルル者トス、即チ白陶土ノ分泌制止作用及乾燥作用ノ爲メ創縁ニ痂ヲ形成シ其痂下ニハ漸次上皮ノ増殖ヲ來ス者ナルモ該痂ハ其底面ニ固着シ爲メニ創縁ヨリノ上皮増殖ヲ妨害ス、殊ニ此状態ハ始メ能ク分泌制止ノ效ヲ奏シテ創面縮少シ且扁平トナリシトキニ於テ然ルモノトス、尙ホ他ノ障害ハ白陶土療法ニ際シ軟弱天鵞絨様且海綿様ノ肉芽ヲ發生セシムルニアリ殊、ニ白陶土ノ分泌及膿汁排泄ノ制止作用ニ基キ多クハ天鵞絨様肉芽ヲ形成スルニ至ルト、ランゲマツクハスツンプト

慢性鼻加答兒藥

頭瘡藥
植皮創
面藥
潰瘍藥

同一ノ方法ヲ以テ白陶土ヲ使用セリ、又ランゲマツクハ頭瘡、植皮創面及表在性潰瘍ニ對シ次ノ製劑ヲ應用セリ、即チ白陶土、グリセリン各一二、五、ワゼリン一二五、〇ヨリ成ル者ニシテ此製劑ヲ用ユレハ痂ノ形成ニ由來スル障害ヲ除去スルヲ得ルト云フ

又他ノ實驗者ニ由レハ白陶土ノ密閉繃帶ハ良果ヲ收メズシテ創面或ハ潰瘍面ニ通例硬固ノ痂ヲ結ビ其痂下ニハ常ニ膿汁ヲ潑溜シ肉芽發生或ハ乾燥ヲ認メサルモ之ニ反シテ白陶土ヲ以テ開放處置ヲ施セハ痂ノ形成ヲ見ズシテ速ニ治效ヲ奏スト
近來ニ至リドクトル、スツンプハ白陶土繃帶ニ一種ノ「ガーゼ」囊ヲ作り之レニ白陶土ヲ充タシタルモノヲ稱用セリ、但シ此囊ハ創面ノ形狀ニ從ヒ其形態ヲ變シ得可ク又身體何レノ部分

ニモ適合スルノ利便アリト云フ

○肺出血新療法 *Lungen-Blutung, neueste Mittel*

- 一、「エルゴチノール」
- 二、「ヒドラスチス」
- 三、「シチユプチチン」

以上各藥ノ條下ニ就テ見ヨ

○「パルナツシヤ、パルストリス」

Parnassia palustris

癩痢藥

ドクトル、チーリックハ本藥ノ浸劑ヲ千八百九十五年ニ癩痢性癰癩ニ稱用セリ、本品ハ全く無害ニシテ現今ニ至テハ其葉及ヒ丁幾ヲ藥用ニ供セラル

(用量) 大人ニハ一日三回食後ニ丁幾ノ半茶匙ヲ與フ、若シ丁幾ヲ用ヒテ腦ニ充血ヲ興サハ細カニ刻メル「パルナツシヤ」葉

ノ浸劑ニ換フ可シ、即チ二茶匙ノ「バルナツシヤ」葉ニ半「リ」テ
ル」ノ熱湯ヲ注キ十五分時間浸出シ其各半量ヲ朝夕牛乳ニ混
ゼス分服セシム而シテ乾燥セル本藥一〇〇、〇ハ浸劑トシテ
四週間用ユルヲ得可シ

○肺炎最新療法 Pneumonie, neueste Mittel
炭酸「ケレヲソート」ノ部ヲ見ヨ

○麥角流動越幾斯

Extractum Secalis Cornuti fluidum

ドクトル「フロリー」ハ頑固ナル定期性頭痛ノ十例ニ一日本
藥四、〇ヲ一、二、〇ノ規那丁幾ニ和シ内服セシメシニ凡テノ患
者ニ於テ(男及女)頭痛ハ三日以内ニ消散セルヲ見タリ、斯ノ如
キ良成績ハ過半ノ患者ニ實驗セラレ他ノ患者ニアリテ頭痛ハ

定期性
頭痛藥

數月間歇セル後再發スルコトアリシモ更ニ本藥ヲ投シ尙ホ長
キ間歇時ヲ得ルニ至レリ、而シテ此際絶エテ不快ノ副作用ヲ
實驗セザリシト云フ

○白帶下最新療法 Fluor albus, neueste Mittel

一、「ビール」醱酵素

(淋毒ニ原因スル慢性白帶下ニ用ユ)

二、格魯兒加爾基 (右ニ同シ)

三、亞鉛「アルムノール」(右ニ同シ)

以上各藥ノ條下ニ就テ見ル可シ

○「ハマメーリス」製劑 Hamamelis-Präparate

「ハゼリン」及「ハマメーリス」流動「エキス」ノ部ヲ見ヨ

○「ハゼリン」 Hazeline

痔疾藥

本藥ハ「ハマメーリス、ウキルヂニーク」ノ樹皮ヨリ蒸餾シテ製シタル者ニシテ止痛藥トシテ痔疾ニ外用セララル(本藥ヲ糊帶綿ニ浸シ患部ニ貼ス)

○「ハマメーリス」流動越幾斯

Extractum Hamamelis fluidum

本藥ハ「ハマメーリス、ウキルヂニーク」ヨリ製セルモノナリ

(用量)一乃至二茶匙ヲ痔疾及痔出血ニ内用又ハ外用トシ

又喀血ニハ一日數回三十滴乃至四十滴ヲ與フ

處方

「ハマメーリス」流動越幾斯

「ヒドラスチス」流動越幾斯

複方安息香丁幾

各四〇

痔疾藥
喀血療
法

貫若丁幾

一〇

五%石炭酸油

八〇

右油劑ト爲シ痔疾ノ外用ニ供ス

處方

「ハマメーリス」流動越幾斯

二〇〇

右一乃至二茶匙ヲ痔疾患者ニ與フ

○白血病最新療法 Leukämie-Mittel, neueste

脾臟製劑ノ部ヲ見ヨ

○「パペイン」Papain

近來本藥ハ又神經性及潰瘍性消化不良ニ稱用セララル

(禁忌)胃ノ鹽酸過多症トス

(用量)大人ニハ一日三回〇.五乃至一.〇ヲ食後ニ與フ、ドクト

消化不
良藥

ルゴリネーハ一年以上ノ小兒ニ一回〇二乃至〇三哺乳兒ニ
ハ一日三回〇一ヲ與ヘ毎服用後十五分間ヲ經テ稀薄セル牛
乳ヲ混セル粘滑汁ノ少許ヲ與フ

○流動「パラフィン」 Paraffinum liquidum

ドクトル、レーウエンハ「ブーシー」及「カテーテル」ヲ無毒性ニ
蓄フル最良藥トシテ本品ヲ稱用セリ、即チ器械ヲ使用セル後
チ無水亞爾簡保兒ヲ以テ能ク拭淨シ之ヲ流動「パラフィン」ヲ
充タセル有蓋「シャーレ」中ニ蓄フ可シ、縱令長時間器械ヲ其中
ニ貯藏スルモ決シテ腐蝕セラル、コトナシ、若シ日々頻回器
械ヲ使用スルニ於テハ屢々流動「パラフィン」ヲ交換セサル可
ラス、又流動「パラフィン」ハ器械ヲ極メテ滑澤ナラシメ用ニ臨
ンテ特ニ油類ヲ要セサルノ益アリ、且用法輕便ナルカ爲メ患

消毒藥

者自己ニ之ヲ使用セシムルヲ得

○「パラプラスト」 Paraplaste

該品ハ皮膚様色ヲ有スル治療用弾力性護膜硬膏ノ新種ニシテ
弾力性護膜「コロホニウム」(「チャン」)、「ダンマル」護膜及刺納林ヨ
リ成リ其中ノ「コロホニウム」及「ダンマル」護膜ハ各八%ノ量ヲ
含有セラル

ドクトル、ウンナ(漢堡市)ハ次ノ製劑ヲ賞用ス

(製劑)

- 一、四十%撒里矢兒酸「パラプラスト」
- 二、十%石鹼膏ヲ含有スル十%撒里矢兒酸「パラ
プラスト」
- 三、十%印度大麻「エキス」ヲ含有スル四十%撒里

- 矢兒酸「バラブラスト」
- 四、四十%「クリサロビン、バラブラスト」
- 五、六十五%水銀「バラブラスト」
- 六、七、五%石炭酸ヲ含有スル五十%水銀「バラブラスト」
- 七、四十%「イヒチオールバラブラスト」
- 八、四十%「ピロガロールバラブラスト」
- 九、五十%「レゾルチンバラブラスト」
- 十、四十%酸化亞鉛「バラブラスト」
- 十一、十五%焦性吐松油ヲ含有スル三十%酸化亞鉛「バラブラスト」
- 十二、二%酸化水銀ヲ含有スル四十%酸化亞鉛

破傷風
療法

本藥ニハ流動及固形ノ二種アリ

一、流動製劑ハ破傷風免疫ノ馬ノ血清ニシテ既ニ本病ニ罹レル人及馬ノ治療上ニ用ヒ一小瓶中二百五十免疫單位ヲ容ルモノナリ

馬及ヒ人(大人)ニアリテハ「テタヌス」症候ノ發現スルヤ否ヤ小瓶中ノ全量ヲ一回ニ皮下ニ注射ス、而シテ次ノ二日間尙ホ二百五十單位ノ注射量ヲ反復ス可ク、小兒ニアリテハ診斷確定セル後チ直チニ二百五十單位ヲ有スル小瓶ノ半量ヲ

○破傷風抗毒素最新製劑及用法

Tetanus Antitoxin, neueste Präparate und
Gebrauchsanweisung

「バラブラスト」

注射シ他ノ半量ヲ翌日注射ス可シ
健康者ノ外傷ヲ蒙リ「テタヌス」ノ發生ヲ恐ルルモノニハ二
十免疫單位ヲ有スル最小瓶ノ全量ヲ注射ス可シ

二、固形製劑ハ破傷風免疫ノ馬ノ血清ヲ乾燥シテ製シタ
ルモノニシテ流動性製劑ヲ久シク蓄フレハ抗毒素ノ減少ス
ルモノナルニ反シ本劑ハ無限ニ保存シ得可キモノナルカ故
ニ長時間貯藏ヲ要スル場合ニ於テ殊ニ應用セラル
固形ノ破傷風抗毒素ハ流動性ノモノト同シク二百五十免疫
單位ノ小瓶ト二十免疫單位ノ最小瓶トノ二種アリテ二百五
十單位ノモノハ四十立仙迷ノ無菌水、二十單位ノモノハ五
立方仙迷ノ無菌水ニ溶解シテ用ユ
人體ニ於テ急激ニ經過スル症ニアリテハ本

病發現ノ後二十六時間以内ニ治療ヲ施セル
モノニ非サレハ好成績ヲ得ル能ハス、故ニ
病院及醫獸研究所ニ於テハ常ニ本藥ヲ貯藏
スルヲ肝要トス、又通例破傷風患者ニ實驗セラルル傳
染性異物ハ注射療法ヲ施セルニ關セス之ヲ除去シ創面ヲ清
潔ニシテ毒素生産ノ路ヲ斷ツ可シ(以上ハ獨逸國ニ於テ應
用スルモノナリ)
東京傳染病研究所ニ於テ製造セル破傷風血清ハ其使用心得書
ニ依テ用ユ可シ。

○白屈菜水製越幾斯

Extractum Chelidonii majoris aquosum

癌腫療法

ドクトル、デニツセンコーハ癌腫ニ本藥ヲ稱用ス、然レトモ癌腫ニ對スル本藥ノ效用ニ就テハ諸家ノ意見各異ナリ、一二ノ實驗家ハ有效ナリト稱スルモ他ノ諸家ハ少シモ奏效ヲ見ザリシト云フ

(用量及用法) (デニツセンコー法) 一回〇、一乃至一、〇、一日〇、五乃至五、〇ヲ蒸留水或ハ薄荷水ニ和シテ内服セシム、デニツセンコー氏ハ外用トシテハ腫瘍ノ遠隔部又ハ腫瘍ト健康組織ノ境界部ノ處々ニ本藥「グリセリン」及「餹水」ノ同重量ヨリ成ル混液ヲ「フラワツツ」注射器ニ取り其十分ノ一筒乃至三分ノ一筒ヲ注射セリ、此際液ノ全量ハ一筒ヲ越ユ可ラス、又腫瘍ノ肉芽面ヲ呈スル者ニハ本藥ノ一乃至二分及ヒ「グリセリン」一分ヨリ成ル混和液ヲ塗抹セリ

處方 (内用)

白屈菜水製越幾斯 一、五乃至五、〇

「メンタ」水 六〇、〇

單舍利別 三〇、〇

右一日六食匙ヲ與フ

處方 (注射用)

白屈菜水製越幾斯 一〇、〇

餹水 一〇、〇

右半筒即チ〇、五立方仙迷ヲ毎二乃至五日間ニ注射ス

〇微毒最新療法 Syphilis-Mittel, neueste

一、微毒治療血清

二、「アイゴン」製劑 (沃度蛋白化合物)

- 三、「ゾツオヨードル」水銀 (皮下注射用)
- 四、「ヒルゴールム」 (塗擦用)
- 五、沃度「アルバチツト」 (沃度蛋白製劑内用)
- 六、「ヨヂビン」
- 七、「ヨドール」 (沃度脂肪、内用、皮下注射或ハ塗擦軟膏トス) (外用)
- 八、沃度「ワヅゲン」 (内用)
- 九、「メルクリオール」 (水銀粉末ニシテ外用ニ供ス可キ新種ナリ)
- 十、「モルリン」 (水銀ト共ニ塗擦用トス)
- 十一、水銀「ワヅゲン」軟膏 (塗擦用)
- 十二、「レゾルビン」

(水銀「レゾルビン」ヲ塗擦用トス)

十三、「トラウマトール」

詳細ハ以上各藥ノ條下ニ就テ見ヨ

○「パルアルデヒツト」 Paraldchyd

催眠藥

本藥ハ辛烈味ト嘔囉仿謨ニ類似ノ香氣トヲ有スル液體ニシテ攝氏十度以下ニ冷却スレハ結晶シ催眠藥トシテ稱用セラル

(用量) 内用ニハ一回ニ二、〇乃至五、〇ヲ與ヘ一回ノ極量五、〇

一日極量ヲ一〇、〇トス

處方

「バルアルデヒツト」 四、〇乃至六、〇

蒸餾水 九〇、〇

單舍利別 一〇、〇

右其半量ヲ一回ニ用ユ

處方

「バルアルデヒット」

四〇

蒸餾水

二五〇

護謨漿

二五〇

右浣腸用トス

以上ノ二處方ヲ不眠症、神經性喘息及「ストリヒニ」中毒ニ應用ス

にノ部

○乳酸 *Milchsäure*

本藥ハ強利尿作用及加爾基排泄ヲ増進ス可キ作用ヲ有スルヲ

心胸絞
痛療
法

以テプロフェツソル、ルンブハ血管、カルク變性ニ因スル心
胸絞痛ニ稱用シ且ツ患者ニ可成的石灰分ニ乏シキ食物
ヲ與ヘタリ、即チ肉二五〇、〇麵包一〇〇、〇魚肉一〇〇、〇馬鈴
薯一〇〇、〇林檎若クハ青豆サ、ゲノ類、木瓜、或ハ生豌豆等
ノ如キモノ一〇〇、〇ヲ與ヘ牛乳、乾酪、鶏卵、胡蘿蔔、ニンジン波陵菜ノ
如キ「カルク」含有ノ食物ヲ避ケシメタリ

〔用法及用量〕

處方

炭酸那篤留謨

一〇、〇

乳酸適宜ヲ加ヘ抱和セシメ次テ

乳酸

一〇、〇ヲ加フ

單舍

一〇、〇

餽水

1100.0

右一日數回ニ内服セシム

此合劑ヲ三ヶ月間持長セシメテ四週間休藥シ後隔月ニ本藥ヲ連用セシム

其他諸家ハ一日二回六乃至二十滴ノ乳酸ヲ糖水ニ混シ食事中ニ與ヘ濕疹ニ原因スル瘙痒并ニ痒疹ニ效アリトシテ稱用ス

瘙痒療法

○乳汁分泌催進藥

Milchsecretion-Beförderungsmittel

近來此目的ニ向テ多クノ醫家ハ「ゾマトーゼ」ヘーデン滋養物質及「プラスモン」等ヲ稱用ス

○「ニコチン」石鹼 Nicotina-Seife

疥癬藥

本石鹼ハ撒里失兒酸「ニコチン」ヲ以テ製シタル者ニシテ臭氣ナク又衣服ヲ汚染スルコトナシ、故ニ疥癬、頭部ノ乾癬、瘙痒(寄生虫ニ原因スル者)等ニ對シ大人ニノミ用ヒラレ之レニ〇.三五%及〇.七%ノ「ニコチン」ヲ含有スル二種アリ

(用法) 患者ヲシテ朝夕本石鹼ヲ以テ頸部以下足尖ニ至ル迄全身殊ニ疥癬ノ存スル部ヲ注意シテ洗滌セシメ第一日ニハ石鹼ノ泡沫ヲ其儘乾燥セシメ後ニ至リテハ之ヲ洗除ス可ク殊ニ皮膚ノ知覺過敏ト成レル場合ニ於テ然リトス、後ニハ一日只一回ノ洗滌ヲ行ヒ瘙痒ノ全然去ルニ至テ本療法ヲ止ム可シ
エム、ウオルテルスハ中毒ヲ避ケンカ爲メ「ニコチン」石鹼ノ代リニ〇.一%ノ撒里失兒酸「ニコチン」ヲ含メル刺納林ヲ使用セリ、此製劑ハ即チ「ナイデルモール」Eudermolトシテ坊間

「ナイデルモール」

販賣セラルル者ニシテ從來六十七名ノ疥癬患者ニ用ヒ偉効アルヲ證明セラレタリ

○鹽酸「ニルワニン」 Nirvanin hydrochloricum

浸潤麻痺藥

本藥ハ容易ク水ニ溶解ス可キ無色ノ結晶ヲ形成スル新局處麻酔藥ニシテドクトル、アー、ルキセンベルゲルハミュンヘン府大學外科「クリニツク」ニ於ケル試験ニ基キシユライヒ溶液ヨリモ無害有力ニシテ且消毒力ニ富ミ又其溶液ハ消毒シ得可キ者ニシテ浸潤麻痺及局所麻痺ヲ起サシムル良藥トシテ熱心ニ賞用セリ、外科手術及齒科手術ノ局所麻痺ニハ二乃至五%水溶液ヲ用ヒシユライヒノ浸潤麻痺ニハ〇、五乃至〇、二%ノ溶液ヲ應用ス

局所麻酔藥

ドクトル、カール、カツセルハ喉頭ノ手術ニ際シ古加因ノ代用

二十%「ニルワニン」溶液ヲ用ヒ充分ナル效果ヲ收メ又術後ニ於ケル疼痛モ全然除去スルヲ得タリ

殊ニ「ニルワニン」ノ賞讚ス可キハ麻酔用ノ濃厚液ト雖モ確ニ中毒作用ヲ與ヘサルニアリ、アインホルン、及ハインチノ實驗ニ由レハ「ニルワニン」ハ其毒性古加因ヨリモ弱キコト十倍餘ナリトス、古加因ノ大人ニ於ケル極量ハ〇、〇五ナルモ「ニルワニン」ノ極量ハ〇、五或ハ其以上タルハ多クノ實驗家ノ等シク證明スル處ナリ

ルキセンベルゲルハ古加因溶液ヨリモ「ニルワニン」溶液ノ卓絶セルヲ極メテ明瞭ニ「ヘルニヤ」ノ根治的手術ノ例ヲ以テ證明セリ、即チ此手術ヲ行フニハ八十乃至百立方仙迷ノ浸潤麻痺液ヲ要ス、今シユライヒノ第二號即チ中等度ノ者ヲ用ユレ

ハ古加因ハ其極量ヲ超過スルコト殆ント二倍ナリトス、之ニ反シテ四分ノ一%「ニルワニン」溶液ノ一〇〇、〇ヲ(即チ凡ソシユライヒ第二號液ニ匹敵ス)用ユレハ其中含ム處ノ「ニルワニン」量ハ〇、二五ニシテ其極量ノ半ハニ過キス、故ニ「ニルワニン」ノ利益アルヤ明カナリトス

(皮下注射用法)

第一、外科手術ニ於ケルルキセンベルゲル法 最モ適當ナルハ二%溶液ニシテ通常其四、〇ヲ注射ス、此際麻酔ハ遅クモ九分間ニシテ起ルモ強度ノ炎症機能アルニ際シテハ二十分間餘ヲ要スルコトアリ、而シテ其持續時間ハ四分ノ三乃至一時間ナリ、尙ホ注射部ハ紐ヲ以テ纏絡スルヲ必要トス、藥液ハ效力ヲ損セス消毒スルヲ得ルモノトス

無痛拔
齒藥

第二、齒科治療ニ用ユ ローテンベルゲルハ「ニルワニン」ヲ

百六十四名ノ患者ノ拔齒ニ際シ應用シ百五十六回偉效ヲ收メタリ、此際五%溶液ヲブライヒスタイネル形注射器ノ半筒ニ取り齒齦ノ内外側ニ注射シ三乃至五分間後ニ拔齒ヲ無痛性ニ行フヲ得タリ、ドクトル、ロベルト、マルクスハ注射液ヲ必ス用ニ望ンテ新調スルヲ稱揚シ此目的ニ向テ同氏ハ一個〇、二五ノ「ニルワニン」ヲ含有スル錠劑ヲ製シ其一個乃至二個ヲ一〇、〇ノ水ニ溶解シ用ヒタリ

其他マルクスハ一二ノ場合ニ於テ齒髓ノ知覺ヲ減セン爲メ二十%「ニルワニン」溶液ヲ應用シテ良效ヲ收メタリ、即チ「ニルワニン」ヲ浸セル「タンボン」ヲ挿入セル後二分乃至三分間ヲ經テ無痛性ニ搔抓スルヲ得タリ、同氏ハ又前裝

填充物ニ五%「ニルワニン」ヲ加フルヲ賞讃シ且ツ無痛性作用ト同時ニ消毒作用トヲ有スル良好腐蝕煉劑トシテ左ノ處方ヲ稱用セリ

處方 (齒科用)

亞砒酸

一〇

「ニルワニン」

一〇

刺納林或ハ純「ワズゲン」

適宜

右煉劑トス

○肉代用品(最新) Fleisch-Ersatzmittel, neueste

- 一、「アルカルノーゼ」
- 二、「ヂユナモーゲン」
- 三、「オイラクトール」

- 四、「フライシユザフト」 (ブーロー)
- 五、「ヘマトール」柯々阿
- 六、「カルノー」 (舍利別様肉生産物)
- 七、「ミエトーゼ」 (肉蛋白)
- 八、「ネールストツフ、ヘイデン氏(蛋白製劑)
- 九、「ブラスモン」 (乳蛋白)
- 十、「ザナトーゲン」
- 十一、「ザノーゼ」
- 十二、「トリール」 (肉羹汁)
- 十三、「トロボン」
- 十四、「ワレンチン氏」フライシユザフト
- 十五、「ゾマトーゼ」

以上各藥ノ條下ヲ見ヨ

○乳酸「ストロンチウム」 Strontium lacticum

本藥ハ水及ヒ亞爾箇保兒ニ溶解ス可キ白色顆粒狀粉末ニシテ
ドクトル、プロノウスキー及ドクトル、ビツクハ新鮮ノ腎實
質炎ニ用ヒテ良效ヲ收メタリ、兩氏ハ多クノ患者ニ本藥ヲ連
用シテ尿中蛋白ノ減少ヲ認メ又二三ノ患者ニハ不快ノ副作用
ヲ來サスシテ尿量ノ増加セルヲ實驗セリ

(用量) 大人ニハ一回〇・三乃至〇・六一〇乃至八・〇ヲ水溶
液トシテ與フ

ほノ部

○防腐藥(内用) Antiseptis, innere

ドクトル、グレーデルハ手術及難産ノ各症ニ傳染ヲ豫防スル
爲メ毎回其術前ニ次ノ處方ヲ永ク内服セシメタリ

處方

「ゾルウエオール」 一五、〇

「リゾール」 五、〇

「クレオリン」 一、〇乃至三、〇

「メントール」 六滴

右十滴乃至百滴ヲ一日三回乃至六回牛乳ニ混シ與ヘ漸次
ニ増量シテ四日乃至十日ニ至リ百滴ニ達セシムルヲ要ス

○防腐藥(最新) Antiseptische Mittel, neueste

一、「アルゾール」

(溶液トナシ繃帶及洗滌用トシテ用ユ)

- 二、「アンチノヂン」(溶液及撒布薬トシテ用ユ)
- 三、防腐薬 (内用)
 - (手術及難産ニ際シ傳染ヲ豫防スル爲メニ内服セシム)
- 四、「アステロール」
 - (水銀劑ニシテ五百倍溶液ハ二千倍昇汞水ト同一ノ價値ヲ有ス)
- 五、白陶土 (乾燥及止臭薬トシテ用ユ)
- 六、「チフロールヂフェニール」
 - (撒布薬或ハ軟膏トシテ用ユ)
- 七、「フォルモール」
 - (炭末ト混シ乾燥薬及止臭薬トシテ専ラ)

- 挫傷性或ハ裂傷性腐敗創面ノ撒布薬トシテ用ヒラル)
- 八、「イトロールグルトイート」膠囊
 - (腸管防腐薬トシテ内用セシム)
- 九、沃度「フォルモゲニウム」
 - (撒布薬トシテ沃度仿謨代用薬トス)
- 十、沃度「ガリチン」
 - (「ビスミット」及沃度ヲ含有シ沃度仿謨ノ代用薬トシテ乾燥撒布薬トス)
- 十一、加脩母「ゾツオヨドリクム」
 - (沃度仿謨ノ代用トシテ撒布及軟膏トシテ用ユ)

十二、重碳酸曹達

(二%溶液ハ生理的繃帶用トシ例之瘰
疽ニ用ユ)

十三、「ピオクタニン」

(溶液トシ或ハ撒布又ハ軟膏トシテ用ユ)

十四、「ザラチエトール」

(腸管防腐藥トシテ内用セシム)

十五、「トラウマトール」

(沃度ヲ含有シ撒布藥、軟膏等トシテ微
毒等ニ用ユ)

十六、過酸化水素製劑

(「カンフオルヲキソール」、「メントキソ

ール」ナフトキソールニ

十七、「キセロフォルム」

(新創面ニハ撒布藥、眼病ニハ撒布及軟
膏トシテ用ユ)

十八、銀軟膏(クレーデ氏)

(腐敗性傳染病ニ塗擦藥トシテ用ユ)

十九、「ヒノゾール」

二十、「チヲフォルム」

二十一、「アクトール」

以上各藥品ノ部ヲ見ル可シ

○「ホルチノール」蒸發燃燒器

Verdunstungs-Brenner mit Holzinol.

本燃焼器ヲ以テ「ホルチン」ヲ蒸發セシメ之ヲ吸入セシムルモノニシテ特ニ氣管枝加答兒及百日咳ニ稱用セララル
 「ホルチン」Holzin, ハ三十五%「ホルムアルデヒド」五%
 「メントール」六十%「メチール」亞兒簡保兒ヲ含有スル液體ナリ

○膀胱炎最新療法 Cystitis-Mittel, neueste

- 一、「サロサントール」
- 二、「ウロトロピン」

以上各藥ノ條下ニ就テ見ヨ

○鹽酸「ホロカイン」 Holocain, salzsaures

本藥一%液ノ二乃至四滴ヲ點眼スレハ瞳孔ヲ散大セスシテ一分間ノ後十分乃至二十分間持續スル結膜及角膜ノ完

眼科用
局處麻
酔藥

全麻痺ヲ起スガ故ヘニ殊ニ異物ノ除去ニ際シ適用セララル、
 ラングランゲハ白内障手術ニ鹽酸「ホロカイン」〇.〇五古加因
 〇.一餉水一〇.〇ヨリ成ル合劑ヲ稱用ス、元來本藥ハ古加因ヨ
 リモ有毒ナルニ關セス上記ノ溶液及用量トシテ眼科上ニ應用
 シ決シテ中毒症狀ヲ實驗セラルルコトナシ、本藥ハ無色ノ結晶
 針ヲ成シ冷水ニハ二%マテ又溫湯ニハ尙ホ一層容易ニ溶解シ
 其溶液ハ二週間後ニ至レハ效力ヲ失フカ如キ觀アルヲ以テ少
 量宛ヲ製スルヲ可トス、而シテ該溶液ハ煮沸スルヲ得可キモ
 此際常ニ陶器ヲ用ヒ或ハ前以テ鹽酸ニテ煮沸セル硝子器ヲ用
 ヲ可シ然ラサレハ溶液ノ溷濁ヲ來スノ恐レアリ

へノ部

強壯劑

○「ヘマチン、アルブミン」 Haematin Albumin

本品ハプロフェツソル、ニールス、エル、ヒンゼン法ニ從ヒ動物ノ血液ヨリ製シタル者ニシテ「ヘモグロビン」ト血清蛋白トヨリ成リ多量ノ鐵ヲ含有スル無臭無味ノ褐色粉末ニシテ年餘ニ亙リ之ヲ蓄フルモ變敗スルコトナシ

(用法) 本品ハ直接水ニ溶解セサルモ柯々阿末ノ如ク水ヲ以テ泥狀トナスヲ得可ク、冷水、赤酒、麥酒、及肉羹汁ト共ニ内服シ能フ可キモ之ト能ク混和セシメンニハ數滴ノ水或ハ尙ホ良好ナルハ赤酒ヲ加ヘ前以テ煉捏スルヲ良トス、本藥ハ少シモ脂肪ヲ含有セサルガ故ヘニ胃弱家尙ホ服用ニ堪ヘ加之嬰兒ニモ應用スルヲ得可シ

(用量) 大人ニハ一日三回一茶匙宛小兒ニハ其半量ヲ與ヘ嬰兒

ニハ四分ノ一茶匙ヲ牛乳ト共ニ與フ

○「ヘマトール」 Haematol

本藥ハ芳香性無菌「ヘモグロビン」ニシテ衛生專門家ドクトル、ニーマン氏ノ監督ノ下ニ牛血ヨリ製造セラレ血液固形成分ヲ溶解シ易スキ形狀トシテ含有シ且ツ佳味ヲ有スルモノナリ、而シテ「ヘマトール」柯々阿、及「ヘマトール」チヨコラード「ヘ貧血及虛弱患者ニ稱用セララル

(用法) 「ヘマトール」ハ一年乃至五年ノ小兒ニハ一日一乃至二茶匙ヲ食前ニ與ヘ尙ホ大ナル小兒及大人ニハ食前一時間ニ一乃至二小兒匙ヲ與フ、「ヘマトール」柯々阿ハ其一茶匙ヲ「コツプ」ニ入レ熱湯ヲ加ヘ攪拌シ更ラニ沸騰セシメテ與フルヲ可トス

強壯劑

○「ヘモフォルム」 Haemofom

本薬ハ水ニ溶解ス可キ無味粉末形ノ新鐵蛋白製劑ニシテ殊ニ小兒ニ稱用セラル

(用量) 一日二〇乃至一五〇

○「ヘモグロビン」 Haemoglobin

一、「ヘマチン、アルブミン」

(「ヘモグロビン」ト血清蛋白ヲ含ム者ナリ)

二、「ヘマトール」

(芳香性無菌「ヘモグロビン」ナリ)

以上各薬ノ部ヲ見ヨ

○「ヘモスタート」 Haemostat

本品ハ豚脂、硫酸規尼涅及ヒ純粹ノ單寧酸ヨリ成ル軟膏ニシ

衄血療
法

テ、ドクトル、キンミヒ及他一二ノ醫家ハ衄血ニ用ヒ瞬間ニ止血ノ效ヲ奏スル者トナシ、又衄血ノ再發ニ對スル豫防薬トシテ稱用ス

(用法) 該軟膏ヲ鼻ノ側面及鼻根部即チ眉毛ノ間及眉上ニ能ク塗擦ス可ク此際軟膏ノ眼鼻ニ入ルヲ避ク可シ

○「ヘバラデー」及乾燥肝

Heparaden und Hepar siccatum

肝臟製劑ノ部ヲ見ヨ

○「ヘロイン」 (純粹) Heroin (purum)

本品ハ莫兒比涅ノ二醋酸「エステル」ニシテ白色結晶様ノ粉末ヲ成シ、容易ク水ニ溶解セザルモ「アルコール」ニハ能ク溶解シ、無害ニシテ便秘ヲ起サザル莫兒比涅代用薬トシテ、結核及

莫兒比
涅代用
藥

氣管枝喘息患者ノ咳嗽發作ニ稱用セラル、プロフェツソル、レ
オハ肺氣腫及氣管枝喘息患者ノ呼吸困難ヲ起セル者ニ本藥ヲ
沃剝ト伍シ用ユ、之レ多クノ場合ニ於テ「ヘロイン」ノミヲ用ユ
レハ呼吸困難ハ著シク輕快スルモ同時ニ祛痰ノ困難トナルカ
爲メナリ、ドクトル、ベ、ツルナウエルハ「ヘロイン」ヲ皮下注
射トシテ用ヒ直チニ數時間ノ安眠ヲ來サシムルヲ得タリ、然
レトモ皮下注射用ニハ輒ク水ニ溶解ス可キ鹽酸「ヘロイン」ヲ
用ユルヲ良トス、又滴劑及合劑トシテモ鹽酸「ヘロイン」ハ純「ヘ
ロイン」ニ勝レル者トス

(用量) 大人ニハ一日三乃至四回〇、〇〇五乃至〇、〇一ヲ白糖
ニ和シ散藥トシテ内服セシム、一回量ニハ〇、〇一ヲ極
量トス、是レプロフェツソル、レオハ此一回量ヲ與ヘタル後

不快ノ症狀ヲ呈セルニ患者ヲ實驗シ其一患者ニハ惡心及眩暈
ヲ來シ他ノ一患者ハ失神シタレハナリ、一日極量ヲ〇、〇
一二五トス、又其水溶液ヲ滴劑トシテ用ユ

處方

純「ヘロイン」

〇、一五

稀醋酸

五乃至十滴ニ溶解シ

餽水

一〇、〇

右一日三回乃至四回五滴ヲ與フ

ドクトル、ゴルドマンハ次ノ處方ヲ稱用ス

處方

純「ヘロイン」

〇、〇〇三乃至〇、〇〇五

白糖

〇、五

鎮咳藥

右爲一包其十包ヲ製シ一日三回乃至四回大人ニ一包宛ヲ與フ(鎮咳藥)

處方

純「ヘロイン」 〇.〇〇〇五乃至〇.〇〇二

白糖 〇.五

百日咳藥

右爲一包其十包ヲ製シ小兒ニ一包宛一日三回乃至四回與フ(百日咳等)

處方

純「ヘロイン」 〇.〇〇五

「トリオナル」 一.〇

催眠藥

右爲一包其五包ヲ製シ大人ニ臨臥前一杯ノ溫湯ニ一包ヲ

止汗藥

和シ與フ

麻醉藥

○鹽酸「ヘロイン」 Heroin hydrochloricum

莫爾比
混代用藥

該藥ハ皮下注射ニ最モ適スル**麻醉藥**ニシテ白色結晶様ノ粉末ヲ形成シ一ト二ノ比例ヲ以テ輒ク水ニ溶解シ、又亞爾箇保兒ニモ容易ニ溶解シ其水溶液ハ中性ノ反應ヲ呈シ、數日間分解セスニ保存セラル可ク、鹽化鐵ニ逢フモ絶エテ反應ヲ起サス、丸劑及散劑トシテ處方スルニ方リ鹽酸「ヘロイン」ハ純「ヘロイン」ト同價ヲ有スル者トス、又鹽酸「ヘロイン」ハ**重曹**及**礮砂**加茴香精ノ如キ**亞爾加里性反應**ヲ呈スル藥劑ト處方スルヲ禁ス、之レ沈澱ヲ來スノ恐レアレハナリ、注射液製造ニ供スルハ餾水ハ一回煮沸シテ冷却セシメ之レニ鹽酸「ヘロイン」ヲ溶解ス可シ
ドクトル、カール、ミルトルハ鹽酸「ヘロイン」ヲ一ニ對スル千乃

至一ニ對スル六百ノ水ニ溶解シテ子宮蜂窩織炎及子宮附屬機
 關ノ疾病ニ良好ノ止痛藥トシテ腔内「タンボン」ニ稱用ス、但シ
 一「タンボン」ニ其溶液一〇、〇乃至一五、〇ヲ浸漬セルヲ以テ一
 回ノ鹽酸「ヘロイン」量ハ〇、〇一乃至〇、〇一五乃至〇、〇一六
 乃至〇、〇二五ナリトス、又腔坐藥トシテ〇、〇一乃至〇、〇一五
 ノ鹽酸「ヘロイン」ニ柯々阿酪ヲ加ヘテ一坐藥トナシ用ユ
 (用量) 内服ニハ純「ヘロイン」ト同量ヲ用ユ即チ一日三回乃
 至四回〇、〇〇三乃至〇、〇〇五ヲ與ヘ一日量〇、〇一二五ト
 ス

皮下注射用 トシテハ〇、〇〇三乃至〇、〇〇五ノ少量ヨリ
 初メ漸次〇、〇一ニ増量ス可シ、一日量〇、〇一二トス
 プロフェツソル、オイレンブルグハ一回ノ皮下注射量トシテ

〇、〇一ヲ用ユ、此分量ヲ超ユルハ例外ノ場合ニ於テノミスル
 モノニシテ極メテ注意シツ、徐々ニ増量セサル可カラス
 ドクトル、ツルナウエルハ一%溶液ヲブラワツツ注射器ノ十
 分ノ三乃至十分ノ四筒ヲ用ユ即チ一回ノ皮下注射ニ〇、〇三
 乃至〇、〇四ノ鹽酸「ヘロイン」ヲ含有ス

處方 (ドクトル、ゴールドマン方)

鹽酸「ヘロイン」 一、〇

無菌溜水 五〇、〇

處方

右皮下注射用トシテ〇、二五乃至〇、五立方仙迷ヲ用ユ

鹽酸「ヘロイン」 〇、一

苦扁桃水 二〇、〇

右一日三回乃至四回十五滴乃至二十滴ヲ鎮咳劑トシテ與
フ

○「ヘルペス、トシズーランス」寄生性
匍行疹

最新療法 Herpes tonsurans-Mittel neuste

一、「ナフタラン」

二、「ナフトール、ソゾゲン」

以上各藥ノ部ヲ見ヨ

○「ヘトール」(肉桂酸曹達) Heterol

本藥ハ白色結晶様粉末ニシテプロフェツソル、ランデレルハ
一%及五%ノ水溶液トシテ靜脈注射(中貴要靜脈)又ハ臀部ノ
皮下注射トシテ肺結核ニ稱用ス

「ヘトール」ハ溫湯中ニハート二十ノ比例ニ於テ溶解シ五%

結核注
射藥

以上ノ溶液ハ沈澱ヲ來ス者トス、本藥ハ餾水或ハ〇、七%ノ
生理的食鹽水ニ溶解スルヲ最良トス、而シテ之ヲ使用スル
ニ際シ濾紙ヲ以テ濾過シ後消毒シテ用ユルヲ可トス、本藥
ハ能ク消毒ニ堪ヘ第一回ニハ五分間以上其後ハ三分間煮沸
スルヲ以テ足レリトス

(用量) 靜脈注射及臀部皮下注射ノ用量トシテ(ランデレル
氏法)肺結核ノ初期合併症ナク無熱或ハ微熱ノ患者ニシテ
少シモ衰弱ノ徵ヲ呈セス一般症狀ノ尙ホ顯著ナラザル者ニ
對シ靜脈注射トシテ〇、〇〇〇一ヲ以テ初ム、即チ一%
ノ溶液ヲ注射器ノ十分ノ一筒ヲ以テ初メ毎回〇、〇〇〇五
乃至〇、〇〇一ヲ增量シ注射ハ隔日或ハ一週三回行フ者ト
ス

平均用量トシテ男子ニハ凡ソ〇、〇一五乃至〇、〇二〇ヲ用ヒ其以上ヲ超過セサルヲ良トス、女子ニ在テハ凡ソ〇、〇一〇乃至〇、〇一五ヲ用ヒ〇、〇二五以上ノ「ヘトール」ハ一定ノ必要アルニアラサレハ用ユ可カラス、若シ「ヘトール」ノ〇、〇〇九ニ達シタルトキハ一%ノ者ヨリ五%ノ溶液ニ移ルヲ良トス、即チ注射器ノ十分ノ一筒中ニ〇、〇〇五ヲ含ム者トス、臀部皮下注射ヲ行フニ際シテハ一倍半乃至二倍ノ治療日數ヲ費スヲ可トス、然シテ藥液ノ全量ハ靜脈注射ト殆ント同量ヲ用ユ可シ、然レトモ又少シモ害ヲ見スシテ靜脈注射ヨリモ三分ノ一乃至二分ノ一ノ藥量ヲ増加スルヲ得可ク又靜脈注射ノ如ク屢々注射セラ、モ妨ケナキ者トス

老人性
癢痒療
法

鎮咳藥

肺結核ノ「ヘトール」療法及ヒ注射法ニ關スル詳細ハラン
 デレル氏結核ノ肉桂酸療法指針 Landerer, Anweisung zur Behandlung der Tuberculose mit Zimmtsäureニ就テ見ル可シ

○「ベンツオナフトール」Benzonaphthol

本藥ハ亞爾箇保兒及嚶囉仿謨ニ溶解ス可キ白色粉末ナリ、内服ニハ〇、二五乃至〇、五ヲ與フ可クブロフェツソル、パリザールハ老人性癢痒ニ一日二、〇ヲ與ヘ服藥前患者ニハ下劑ヲ投シ用藥中ハ牛乳療法ヲ行フヲ可トセリ

○「ペロニン」Peronin

本藥ハ鹽酸「ベンチールモルヒン」ニシテ容易ニ溶解ス可キ白色粉末ヲ成シ莫爾比涅ノ代用藥トシテ肺癆患者ノ咳嗽

百日咳藥

ニ用ヒラル

(用量) 大人ニハ一回量〇、〇二乃至〇、〇四一日量
〇、一五乃至〇、四ヲ溶液、散藥或ハ丸藥トシテ與ヘ百日
咳ノ小兒ニハ年齢ニ應シ尙ホ少量ヲ與フ

處方

「ペロニン」

〇、五

餽水

一〇〇、〇

右鎮咳藥トシテ夜間一茶匙ヲ與フ

又方

「ペロニン」

〇、〇三

「アルター」煎

九〇、〇

「アルター」舍利別

一〇〇、〇

右一日三回一茶匙ヲ年齢四歲位ノ小兒ノ百日咳ニ與フ
近來本藥ヨリ一個中〇、〇二ノ「ペロニン」ヲ含ム錠劑ヲ製シ糖
水或ハ「リモナーデ」ニ和シ與フ

〇「ペルナキソール」 Peroxole

過酸化水素製劑ノ部ヲ見ヨ

〇「ペトロズルフオール」 Petrosulfol

(英國「イヒチチロール」)

本藥ハ硫黄含有ノ麥兒ヨリ製造セラレタル「ゾルフオ」酸ノ「ア
シモン」鹽類ニシテ暗褐色、濃稠、獨乙「イヒチチロール」ヨリモ臭
氣少ナク且ツ廉價ナリ、其十乃至五十%ノ「ワゼリン」軟膏又「ワ
ゾゲン」及「グリセリン」ヲ加ヘタル十%溶液ヲ「ハーベル」ハ「イヒ
チチロール」ノ外用代用品トシテ皮膚、蜂窩織、關節、婦人

「イヒチチ
チロール」
代用藥

生殖器等ノ炎症疾患ニ稱用ス

ドクトルグスターフ、ウォーエルハ、近來慢性子宮附屬機關疾
病ノ二類似症ニ一方ニ「イヒチヤール」ヲ用ヒ他方ニ「ペトロゾ
ルフオール」ヲ投シテ兩者ノ優劣ヲ試ミタリ、殊ニ兩者ヲ十%
「グリセリン」「腫」「タンボン」及ヒ綠石鹼ト等分ノ腹部塗擦軟膏ト
シテ試用セシニ其試驗ノ成績トシテ「イヒチヤール」ノ吸收ハ
「ペトロゾルフオール」ヨリモ速カニシテ且ツ「ペトロゾルフオ
ール」ニアリテハ止痛作用ナキモ「イヒチヤール」ニハ常ニ之ヲ
證明セリト

○「ヘナチエチン」 Phenacetin

解熱藥

本藥ハ「バラ、アチエトヘネチチン」ニシテ「アニリン」ノ誘導體
ナリ、水ニ溶解シ難キモ亞爾簡保兒ニハ能ク溶解スル無味ノ

鎮痙藥

白色結晶樣粉末ニシテ下熱及ヒ鎮痙ノ效ヲ有ス
〔用量〕下熱藥トシテ大人ニハ〇、五乃至一、〇小兒ニハ〇、一五
乃至〇、三ヲ與ヘ鎮痙藥トシテ例之偏頭痛、急性關節痙麻質斯
等ニ〇、五乃至一、〇ヲ投ス、〔極量〕一回一、〇一日五、〇トス

處方

「ヘナチエチン」

〇、五乃至一、〇

右爲一包其六包ヲ製シ大人ノ神經痛ニ一回一包ヲ與フ

又方

「ヘナチエチン」

〇、二五

白糖

〇、二五

右爲一包其十包ヲ製シ一日三回一包ヲ「インフルエンザ」
患者ニ與フ

○鹽酸「ヘノコルルム」

Phenocollum hydrochloricum

百日咳
藥
麻刺利
亞藥

本藥ハ無色針狀體或ハ白色粉末ヲ形成シ十七分ノ水及ヒ亞爾
箇保兒ニ溶解シ多數ノ醫家ハ百日咳ニ有效無害藥トシテ熱
心ニ賞用セリ、又伊多利ノ醫家ハ麻刺利亞ニ之ヲ稱用ス、但
シ本藥ノ麻刺利亞皮下注射ニ關シテハ鹽酸規尼涅ノ條下ヲ參
照セヨ

〔用量〕本藥ハ味ヒ快美ナラサルヲ以テ加糖ノ液體若クハ護謨
漿ニ和シ與フルヲ最良トス、大人ニハ〇、五乃至一、〇一日量ニ、
〇トス、小兒ノ一ヶ月以上ノモノニハ二時間毎ニ〇、一五ヲ與
ヘ一日量〇、七トス、尙長シタル小兒ニハ增量スルモ可ナリ

○「ペシン」 Phesin

解熱藥

本藥ハ「ヘナチエチン」ノ含硫誘導體ニシテ後者ヨリモ有害ノ
副作用少ナク僅カニ腐蝕性ノ滷味ヲ有シ無臭、蒼白赤褐色ノ
輕キ粉塊ナリ、極メテ容易ニ水ニ溶解シテ其溶液ハ「ピスマル
ク」褐色ヲ呈シ輕微ノ酸性反應ヲ現ハス、ドクトル、ツヲルタン、
フオン、ワモツシー及ベーラ、ヘニウエツシー其他ノ醫家ハ本
藥ヲ迅速ニ效ヲ奏シ且ツ短時間持續スル緩和ノ解熱藥トセ
リ、蓋シ效用短時間ナルカ爲メ上記ノ諸氏ハ本藥ノ小量ヲ持
續性ニ用ヒテ其弊ヲ補ヘリ

〔用量〕大人ノ内服ニハ一回〇、五乃至一、〇乃至二、〇ヲ與ヘ一
日五、〇乃至七、〇ヲ與フ

○扁桃腺炎最新療法

Mandelentzündung, Mittel. neueste

- 一、「アンチツツシン」(塗擦薬トシテ用ユ)
- 二、「ザロール」
- 三、「ザロフェン」

以上各薬ノ條下ヲ見ヨ

○偏頭痛最新療法 Migräne-Mittel, neueste

- 一、「アナルゲン」
- 二、麥角流動越幾斯
- 三、「マラリン」
- 四、「ミグロール」
- 五、「ピユラミドン」
- 六、「ザロフェン」

詳細ハ以上各薬ノ條下ヲ見ヨ

○「ヘーデン」滋養物質 Nährstoff Heyden

滋養品

本品ハ新鮮ナル鶏卵蛋白ヨリ製セル黄白色ノ粉末ニシテ温湯ニ溶解ス。ドクトル、ヘーフェルマンノ説ニ由レハ該品ハ消化機ノ力ヲ勞セスシテ直チニ血中ニ吸收セラレ體中ノ蛋白需要ヲ供給シ得可キ蛋白質ニシテ食物及ヒ飲料物ニ加エ用ユ可キ者ナリト、又本品ハ能ク食欲ヲ亢進シ又乳母ノ食物ニ加フレハ乳汁ノ分泌ヲ増シ且其成分ヲ善良ナラシムルト云フ

ドクトル、ヘルマンハ虚弱及ヒ重症恢復期ノ患者ニ用ヒ著シク食欲ヲ亢進シ從テ體重ノ増加セルヲ證明セリ、然レトモ同氏ハ發熱アル者及膿汁分泌アル者ニハ之ヲ禁セリ

(用法) 一日二乃至四茶匙ヲ柯々阿ト和シ與フルヲ最良トス、然レトモ又牛乳、弱咖啡、肉羹汁、麥酒等ニ混シ與フルモ可ナリ、

本品ハ粉末ノ儘直チニ「ソツプ」等ニ混スレハ凝結スルカ故ニ
必ス先ツ少量ノ水或ハ他ノ冷液ヲ以テ溶解セシメテ後チ温液
ヲ加フ可シ

○「便秘最新療法」 Verstopfung, neueste Mittel

- 一、「グリセリン」肛門坐薬
- 二、「サグラダ」越幾斯錠劑
- 三、「サグラタ」バスチルレン

以上各薬ノ條下ニ就テ見ヨ

○「ベソツオゾール」 Benzosol. Benzoylguajacol

結核薬
本薬ハ無色、無臭、無味、水ニ溶解セサル粉末ニシテ結核ノ防腐
薬タリ

(用量) 一日三回〇、二五乃至〇、五ヲ食後ニ内服セシ

ム

○「ペスト」治療血清 Pest-Heilserum

本血清ハ東京血清薬院ニ於テ製造セラルモノニシテ「ペス
ト」菌ノ肉汁培養又ハ寒天培養ヲ加温滅菌シ漸次増量シツ、
動物ニ注射シ高度ノ免疫性トナラシメ之ヨリ得タル血清ニ少
量ノ石炭酸又ハ嘔囉仿謨ノ少量ヲ加ヘタルモノナリ

(用法及用量) 本血清ニ附属スル血清薬院ノ使用心得ニ由テ用
ユ可シ

○「ペスト」豫防液

Schutzimpfungsfüssigkeit gegen Pest

本豫防液ハ東京血清薬院ニ於テ製造セラレ「ペスト」菌ヲ攝氏
三十二度ノ温度ニテ二日間寒天培養基面ニ發育セシメ其一定

量ヲ採リ生理的食鹽水ノ一定量ニ溶解シタルモノヲ加温滅菌
シ之ニ〇・五%ノ比例ニ於テ石炭酸ヲ加ヘ製シタルモノナリ
(用法及用量) 血清藥院ニ於テ指定スル使用心得ニ由テ用ユ可
シ

こノ部

○豆穀 Bohnen-Schalen

本品ノ煎汁ハ糖尿病患者ノ治療藥トシテ稱用セララル

藥 糖尿病
(用法) 毎日五〇〇ノ乾燥シタル豆穀ヲ能ク洗滌シテ土器ニ
投シ之レニ「三リーテル」ノ水ヲ加ヘ四分ノ三「リーテル」ニ至ル
迄濃煎シ此全量ヲ一日中ニ冷服セシム可シ、此療法ハ四週間
或ハ其以上持長スルヲ良トス

○糖尿病性昏睡最新療法

Coma-Diabeticum, neueste Mittel

重碳酸曹達ノ部ヲ見ヨ

○糖尿病最新療法 Diabetes-Mittel, neueste

- 一、豆穀
- 二、肝臟製劑
- 三、亞麻仁茶
- 四、「メチユールン」青
- 五、重碳酸曹達 (糖尿病昏睡ニ内服セシム)
- 六、昇汞
- 七、「ズツギユム、ヂヤンポラーヌム」
- 八、「レウローゼ」

九、ウキルリヤムソン氏乳

以上ノ各條下ニ就テ見ル可シ

○「ドルミオール」 Dorniol

新催眠藥

新催眠藥 ニシテドクトル、メルチエルハ本藥ヲ抱水「クロ
ラール」及「アミエーレンジヒトラート」ノ依的兒樣化合物ト報告
セリ

本品ハ水及油ニ溶解ス可キ無色ノ油樣液ニシテ「カンフル」樣
ノ芳香ト爽涼ノ辛味ヲ有ス、ドクトルメルチエルハ本品ヲ數
多ノ患者ニ與ヘ其實驗ニ由リ抱水「クロラール」ニ類似ノ麻醉
作用ヲ有シ且不良ノ副作用及ヒ後作用ヲ來サズ純粹ニ麻醉作
用ヲ呈スル者ニシテ加之多少亢奮性ナル多クノ精神病患者ノ
抱水「クロラール」ノ無效ナリシ者ニ投シテ好果ヲ收メタリト、

又心臟病患者ニシテ抱水「クロラール」ノ危險ナル場合ニ本藥
ヲ投セシモ些少ノ害タモ見サリシト云ヘリ、而シテ本藥ノ重
積作用ハ從來絶エテ實驗セラレザリシト

(用量) 大人ニハ〇・五乃至三・〇、極量一日六・〇

處方

「ドルミオール」

一〇・〇

護謨漿

一〇・〇

單舍利別

一〇・〇

餹水

一二〇・〇

右用ニ臨ンデ強ク振盪シ其一乃至二食匙ヲ與フ

○「ドウルクチン」 Dulcin

新甘味藥

本藥ハ無害ノ新甘味物ニシテ蔗糖ヨリ甘キコト二百倍、冷

水ニ解ケ難ク熱湯ニハ一ト五十ノ比例ヲ以テ溶解シ又亞爾箇保兒及ヒ依的兒(但シ依的兒ニハ一ト二十五ノ比例ニ溶解ス)ニ溶解スル無色針狀及白色粉末狀物ヲ形成シ「マンニツト」ト混シテ糖尿病ニ用ユル錠劑ヲ製セラル、此錠劑ノ一個中ニハ〇、〇二五ノ「ドウルチン」ヲ含有スルモノトス

○「トロパコカイン」 Tropacocain

本藥ハ「エリトロキシロン、コーカ」(南米産樹)ノ種類ヨリ製セラレ又人爲集造法ヲ以テ製造セラル、水ニ溶解ス可キ結晶ニシテ〇、二%食鹽ヲ加ヘテ〇、一%乃至〇、五%ノ溶液ヲ製シ

局所麻醉(又皮下注射殊ニシユライヒノ浸潤麻痺ニ用ユ)ニ「コカイン」ノ完全ナル代用藥トシテ稱用セラル、該溶液ハ蒸氣消毒或ハ煮沸ニ逢フモ變化セズシテ少シモ藥效ヲ失ハス、本

局所麻醉藥

藥ハ「コカイン」ヨリモ毒力弱ク且ツ永ク保存シ得可ク製造法ノ改良ノ爲メ「コカイン」ヨリモ僅カ高價ナルニ過キスシテ「コカイン」ト同一ノ強且速ナル麻醉作用ヲ呈シ瞳孔ヲ散大セシメス、シユライヒ浸潤麻痺用ニ供スル「トロパコカイン」溶液ハ「コカイン」ト同一ノ強度ニシテ第一號及第二號ノ二種アリ、第一號ハ〇、二%、第二號ハ〇、一%ニシテ佐藥トシテ之ニ〇、二%ノ食鹽ヲ加フ、第三號液ハ比較的毒力少ナキ爲メクスラルハ之ヲ用ヒス、又同氏ハ之ニ莫爾比涅ヲ加ヘス、後疼痛ノ發セル場合ニ於テハ手術後直チニ普通ノ莫爾比涅注射ヲ行ヘ

「トロパコカイン」錠劑ハシユライヒ浸潤麻痺及ヒ「ローベルス」ト改良局所麻醉ニ用ヒラル

(ト)ロバコカイン「錠劑ヨリ溶液製造法」鹽酸トロバコカインハ鹽酸「コカイン」ト同一ノ麻醉作用ヲ致シ之ヨリモ凡ソ三倍弱キ毒力ヲ有スルカ故ヘ專ラ局所麻醉ニ適用セラシテ、縱令濃厚ノ「トロバコカイン」液ハ消毒力ヲ有スルモ單ニ麻醉ノ效ヲ備フル弱溶液ハ念ノ爲メ毎回新タニ製スルヲ可トス、此目的ニ對シ上記ノ錠劑ヲ用ユレハ藥物ノ浪費ヲ省クヲ得可ク且ツ無菌性ニシテ保存ニ堪ヘ冷水ニ輒ク溶解ス可キモノナリ

第一號錠劑ハ浸潤麻痺ニ用ヒラレ其一個ハ「トロバコカイン」〇、〇五食鹽〇、〇五ヲ含ミ之ヲ二五、〇ノ「餾水」ニ溶解シ過敏ナル炎症組織ノ麻痺用ニ供ス

第二號錠劑ハ「トロバコカイン」〇、〇五食鹽〇、一ヲ含ミ之

ヲ五〇、〇「餾水」ニ溶シ此濃厚度ヲ通常液トシテ總テ他ノ疾患ニ用ユ

該溶液ヲ調製スルニハ小ナル「エルレンマイエル」煮沸瓶ニ用ニ應シテ一個若クハ數個ノ錠劑ヲ投入シ之ニ適合スル冷餾水數回煮沸シテ消毒シタルモノヲ加ヘテ振盪溶解セシム可シ

(用量動物試驗及人體ニ於ケル實驗ニ由リ)〇、二%「トロバコカイン」食鹽液(第一號錠劑)ノ極量ハ〇、五以上ヲ用ヒ得可ク故ニ第一號溶液ハ二五〇、〇第二號溶液ハ五〇〇、〇ヲ危險ナク用ヒ得可キモノタルヲ明カニセラレタリ

「ラーベルスト」改良局所麻醉法ハ專ラ指、趾及ヒ陰莖ノ疾患ニ適用セラレ此際第三號錠劑即チ其一個「トロバコカイン」

〇〇五食鹽〇〇二ヲ一〇〇留水ニ溶解シ用ユ
 (用量) 用法ハ極メテ單簡ニシテ先ツ患部指、趾、陰莖等ノ根柢
 ヲ護謨管ヲ以テ緊縛シ而シテ緊帶ノ直前部ノ四ヶ所ニ主神經
 ノ方向ニ沿ヒ〇五%溶液ノ各半筒ヲ針ヲ前方ニ向ケ徐々深
 部ニ注射スレハ四五分時ノ後チ緊縛部ノ前方悉ク完全麻痺ヲ
 起シ緊帶ヲ除去シテ始メテ麻痺ノ消散ヲ見ルモトス(本藥
 ハ極メテ高價ニシテ〇一ハ凡ソ八十錢ナリ)

〇凍傷最新療法 Frostbeulen-Mittel, neueste

- 一 「フェルリチン」
- 二、プロフェツソル、ビンツハ格魯兒加爾基一、〇
 「バラヒン」軟膏九、〇ヨリ成ル軟膏ヲ毎夕塗擦
 シテ單純繃帶ヲ施スヲ稱揚ス

〇吐血療法 Haematemesis

一半格魯兒鐵ノ部ヲ見ヨ

〇盜汗最新療法

Nachtschweisse, Mittel neueste

「サルウキヤ」丁幾ノ部ヲ見ヨ

〇「ドナタール」 Duotal

炭酸「グアヤコール」ノ部ヲ見ヨ

〇「トイクリン」 Teucin

本藥ハ「トイクリウム、スコルデウム」ヨリ製セル水様無菌ノ植
 物越幾斯ニシテ寒性膿瘍、硬性淋巴腺腫、アクテノ
 ミコーセ、狼瘡等ニ皮下注射トシテ稱用セララル

(用量) 大人ニハ患部ノ近傍皮下ニ「トイクリン」ノ三立方仙迷

寒膿瘍
 硬性淋
 巴腺腫
 藥

「アクチ
ノミコ
」
「ゼ」薬

狼瘡薬

ヲ注射ス

ドクトル、グツセンベツケル(レーゲンスブルグ市)ハ次ノ實
驗報告ヲ爲セリ

千八百九十三年初メテプロフェツソル、フオン、モゼチーグ、
ムールホツフノ稱用セル「トイクリン」ノ皮下注射ヲ石様硬
度ノ林檎大頸部結核性淋巴腺腫ニ六仙迷ノ距離ニ三、〇ヲ
皮下ニ注射シ完全治癒セシメタリ、注射後凡ソ六時間ヲ經
テ劇烈ノ反應ヲ起シ疼痛甚ク注射部ノ周圍充血發熱シ
翌日ニ至リ腫瘍ハ増大シテ疼痛ヲ加ヘ軟弱波動ヲ呈シ四日
ノ後之ヲ切開シテ多量ノ膿ヲ排泄シ沃度仿護「カーゼ」ヲ以
テ膿瘍腔ヲ填塞シ正規ノ綑帶交換ヲ施セシ二十四日ニシテ
治癒シ爾後三年ヲ經テ同氏ハ該患者ヲ再診セシニ全然根治

肉越幾
斯

セルヲ證明セリ

○「トリール」 Toril

本品ハ肉蛋白ヲ可溶性状態トシテ含有シ「ソツプ」等ヲ製スル
ニ最適ノ肉越幾斯ナリ

○「トラホーム」最新療法

Trachom-Mittel, neueste

一、「イトロール」

二、「プロタルゴール」(撒布薬トス)

以上各薬ノ部ヲ見ヨ

○「トラウマトール」(又沃度「クレデン」ト稱ス)

Traumatol

本薬ハ沃度ト「クレゾール」トノ化合物ニシテ五十四%ノ沃度

微毒藥

ヲ含有シ紫赤色ヲ呈シ空氣及光線ニ逢フモ變化セサル輕微ノ細末ニシテ水、酸類、亞爾箇保兒ニ溶解セス僅カニ依的兒ニ溶解シ亞爾加里ニハ能ク溶解シ嚙囉仿謨及硫化炭素ニハ最モ容易ニ溶解スル無臭無毒無刺戟ノ者タリ

ウエ、シヤツテンマンハ防腐藥トシテ之ヲ稱用シ粉末ノ儘并ニ「ワゼリン」或ハ刺納林、ヲ以テ十%軟膏ト爲シ又ハ十%「グリセリン」、コロヂユム「若クハ「ガーゼ」トナシテ專ラ微毒患者ニ用ヒテ良效ヲ收メタリ

○「トリオナール」水(炭酸含有)

Trionalwasser, Kohlensäurehaltiges

本藥ハ少量ニテ能ク安眠ヲ來サシメ少シモ有害ノ副作用ナク患者ニ與ヘ得可キ者ニシテ一瓶中一、〇ノ「トリオナール」ヲ含

有ス

(用量) 大人ニハ臨臥前直チニ三分ノ一乃至二分ノ一瓶ヲ服用セシム

○「トリトール」 Tritol

該藥ハ六十七%ノ油類及三十三%ノ芳香性「マルツ」越幾斯「ヂヤスターゼ」ヨリ成ル乳様ノ乳劑ニシテ極メテ微細ニ水ト混和スルガ故ニ乳汁様ヲ成シテ水ニ溶解シ純粹油ヨリモ吸收セラレ易キ者トス、故ニ本藥ハ不快ノ味ヲ有スル藥品ノ調味藥トシテ用ヒラル(條蟲「トリトール」、肝油「トリトール」リチネ「油」トリトール」ノ部ヲ参照ス可シ)

○「トロポン」 Triopon

本劑ハプロフェツソル、ヒンクレルニ由テ三分ノ一ノ動物性

營養品

及三分ノ二ノ植物性物質ヨリ特種ノ方法ニ由テ得ラレタル乾性蛋白ニシテ九十乃至九十六%ノ蛋白質ヲ含有シ水ニ溶解セサル無臭無味微細ノ粉末ヲ成シ消化シ易ク肉類ヨリモ四十乃至五十%廉價ニシテ凡テノ食物ニ加ヘ用ユルヲ得可キモノナリ

(用法)「トロポン」ハ凡テノ固形及液性食物例之赤酒「ビール」、ソップ、野菜、ソース、柯々阿鷄卵ノ如キ者ト共ニ用ユルヲ得可ク一回量トシテ五、〇乃至二、〇〇即チ一茶匙乃至一食匙ヲ與ヘ一日大人ニハ四〇、〇乃至六〇、〇乃至一五〇、〇ヲ與フ、近來又「ネールザルツ、トロポン」Nährsalz-Tropfenナル名稱ヲ有スル者アリ飲料ニ混シ一日凡ソ四〇、〇ヲ與フ

○「トリナナール」Trional

催眠藥

水ニ溶解シ難キ粉末ニシテ催眠ノ效ヲ有シ「ズルフオナール」ヨリモ尙ホ能ク作用ス

(用量)一回二、〇ヲ極量トシ一日四、〇ヲ極量トナス

處方

「トリヲナール」 〇、五乃至一、〇

右爲一包其五包ヲ製シ臨臥ニ一包ヲ與フ

○吐瀉病最新療法

Brechdurchfall-Mittel, neueste

- 一、可溶性磷酸「ビスミット」
(大人及小兒ニ用ユ)
- 二、「チャンボー」葉 (大人及小兒ニ用ユ)
- 三、「インゲストール」 (大人及小兒ニ用ユ)

- 四、「イトロールグルトキット」膠囊
- 五、「ザラチエトール」(大人及小兒ニ用ユ)
- 六、「タンノピン」(特ニ小兒ニ用ユ)
- 七、「タンナルビン」
- 八、「タンニーゲン」
- 九、「タノコル」

以上各藥品ノ條下ニ就テ見ル可シ

ちノ部

○腸室扶斯治療流動越幾斯

Antityphus Extract Flüssiges

ドクトル、エッツハ腸室扶斯菌ヲ植エタル動物ノ臟器ヨリ製

セル越幾斯ヲ腸室扶斯患者ニ内服セシメシニ該藥服用後熱ハ其定型ヲ失ヒ初メ稽留熱ナリシモノ二三日ノ後ニハ弛張性トナリ、脈搏ハ減少且整規トナリ、加フルニ全身症狀ハ輕快シ舌ハ濕潤清潔トナリ、尿量ハ増加スルニ至レリ、エッツノ實驗ニ由レハ熱ハ該藥服用後第二乃至第三日ニ至テ弛張性トナリテ尙ホ二三日間持續シ次テ無熱トナルト云フ

(用量) 大人ニハ該越幾斯ノ一食匙ヲ毎二時間ニ内服セシメ熱ノ弛張ヲ來セル後ハ唯一日三食匙ヲ與フ可シ、解熱ノ後ト雖モ再發ヲ豫防スル爲メ一二日間其少量ヲ與フルヲ良トス
ドクトル、エッツノ言ニ由レハ該越幾斯ハ唯腸室扶斯ニノミ效ヲ奏スルモノニシテ少シモ有害ノ後作用ヲ與フルコトナシト、然レモ該藥凡ソ一〇〇、〇ヲ用ユレハ腸室扶斯患者ニ限リ

多數ノ「ロゼオラ」ヲ發生ス可シ、是レ即チ該越幾斯ハ本病ノ經過ヲ短縮セシムルノ外尙ホ必要ナル診斷上ノ價值ヲ有スルモノトス

○腸窒扶斯治療血清 Antityphus-Serum

本血清ハ腸窒扶斯微菌ノ培養基ニ熱氣消毒ヲ施シタル者ヲ漸次増量シツ、動物ニ注射シテ得タル血液ヨリ製シタルモノニシテ常ニ寒冷暗黒ノ場所ニ貯フルヲ可トス

(用量) 大人ニハ一日十立方仙迷ヲ注射シ必要ノ場合ニ於テハ尙ホ前量ヲ反復ス可シ

東京傳染病研究所ニ於テ製造スル腸窒扶斯治療液モ亦前記ノ方法ニ依テ製セルモノニシテ患者一人ニ對スル用量凡ソ二〇、〇立方仙迷乃至四〇、〇立方仙迷トス而シテ凡二〇、〇立方

仙迷ヲ一回ニ使用ス詳細ハ其使用法心得ニ就テ見ル可シ

○「ヂオニン」 Dionin

鎮咳藥
麻酔藥

該藥ハ莫兒比涅ノ誘導體ニシテ白色無臭苦味ヲ有スル微細結晶様粉末ナリ、亞爾個保兒ニハ容易ク溶解シ攝氏十五度ノ溫ニ於ケル百分ノ水ハ十四分ノ「ヂオニン」ヲ溶解セシメ、酒精中ニハ一ト二十ノ比例ニ於テ溶解ス、ドクトル、セ、コルターハ肺癆患者ノ咳嗽發作、氣管枝喘息、及氣管支加答兒ニ對シ沈靜、止痛及催眠藥トシテ稱用シ、ドクトル、ア、フロンメー等ハ莫爾比涅慣用ヲ避クルカ爲メ其代用藥トシテ應用セリ

(用量) 大人ニハ〇、〇二乃至〇、〇五ヲ内服セシム、一日數回〇、〇一五ヲ與へ或ハ〇、〇三ヲ臨臥ニ用ユ、皮下注射トシテハ〇、

〇一乃至〇、〇二五ヲ與フ、又莫爾比涅〇、〇二乃至〇、〇四ノ代
用藥トシテ其慣用ヲ避ケンカ爲メニハ一回ノ注射量〇、〇五
乃至〇、〇八ノ「チオニン」ヲ三乃至六%ノ溶液トナシテ用ユル
ヲ可トス

ドクトル、フオン、エフエレー氏ノ肺癆患者(大人)ニ用ヒタル丸
藥ニシテ其中ノ「チオニン」量ハ「ドーフルス」散ニ於ケル阿片ノ
如キ類似ノ比例ニ於テ含有セラル、モノナリ之レ實地上最モ
賞用ス可キモノトス其處方即チ次ノ如シ

處方

- 「チオニン」 〇、四
- 吐根末 一、〇
- 藕粉 四、〇

卵蛋白

適宜

右爲六十九用ニ臨ンテ一日五丸乃至十九ヲ與フ

メルクハ大人ニ次ノ溶液トシテ與フ

處方

- 「チオニン」 〇、六
- 苦扁桃水 二〇、〇

右臨臥十五滴乃至二十滴ヲ與フ

○腸加答兒療法(最新) Diarrhoe-Mittel, neueste

- 一、可溶性磷酸「ビスミット」
(腸加答兒及吐瀉病ニ用ユ)
- 二、「ヂャンポー」葉 (腸加答兒及吐瀉病ニ用ユ)
- 三、「インゲストール」(吐瀉病ニ用ユ)

四、「イトロール、グルトキット」膠囊

(腸管防腐ニ用ユ)

五、「オルフォール」(下痢ニ用ユ)

六、「ザラチエトール」

七、「タンノフォルム」

八、「タンノビン」(タンノン)

(腸加答兒吐瀉病ニ用ユ)

九、「タノコル」(下痢ニ用ユ)

十、「チオフォルム」(下痢ニ用ユ)

十一、「キセロフォルム」(下痢ニ用ユ)

以上各藥品ノ部ヲ見ヨ

○「ヂフロールヂフエニール」

Difluordiphenyl

防腐藥

有機性「フロール」化合物ニシテ ($C_6H_4FI.C_6H_4E$) 全ク無毒ノ防腐性撒布藥トシテ純品或ハ滑石末ヲ加ヘテ用ヒ、又ドクトル、ラッサーハ十%軟膏トシテ組織新生殊ニ上皮ノ新生ヲ促ス爲メ例之軟性下疳等ニ稱用セリ、該藥ハ白色ノ結晶様粉末ニシテ水ニハ溶解セザルモ亞爾箇保兒、依的兒、嚶囉仿謨并ニ脂肪油ニ輒ク溶解シ爽快ナル佳香ヲ有スル者ナリ、

○「ヂウレチン」 Diuretin

利尿藥
心臓性
喘息藥

溫湯ニ容易ク溶解シテ冷却後尙ホ溶解性ニ止マル處ノ白色粉末ニシテ無害ノ利尿藥トシテ稱用セラレ、又腎臟病ニ併發スル心臓性喘息患者ニ用ヒラル

(用量) 大人ニハ一回〇.五乃至一.〇ヲ散藥或ハ合劑トシテ與

へ一日三、〇乃至四、〇ヲ投ス、一日五、〇乃至七、〇ノ大量ヲ與
フレハ時トシテ虚脱ニ陥ルコトアリ注意ス可シ、又酸類、菓
物ノ舍利別、甘草羹ハ「ヂウレチン」ヲ分解スルモ
ノトス

○鎮吐藥(最新) Erbrechen, neueste Mittel

一、鹽酸古加因 (惡阻ニ對シテ局所藥トス)

二、硫酸曹達

三、「オレキシシン、バーゼ」(惡阻ニ内用セシム)

以上各藥品ノ部ヲ見ヨ

○「ヂナモーゲン」Dynamogen

該藥ハ牛血ノ純粹ナル血液鹽類ヲ不變ノ流動形ニ製シタル者
ニシテ其一食匙ハ三食匙ノ新鮮牛血ニ匹敵シ無限ニ貯藏セラ

滋養藥

ル可ク佳味ヲ呈シ消化シ易キ物質ナリ、ドクトル、エム、フロキ
デンタールハ貧血患者及衰弱患者等ニ滋養藥トシテ特
ニ稱用セリ

(用量) 大人ニハ一日三回一食匙宛小兒ニハ一茶匙宛ヲ砂糖、
苦味丁幾或ハ赤酒、ブランデー等ニ混シ與へ或ハ純品ヲ與フ

○「ヂヤンボ」葉 Folia Djamboc

本藥ハ西印度及南亞米利加ニ蕃殖スル「ミユルタチエー、プシ
ヂウム、グアヤワー、ラツヂー」ノ葉ナリ、ヂヤワ島ニ於テハ民間
療法トシテ亞細亞虎列刺ニ用ヒラレ、歐洲ニ於テモ近來
吐瀉病并ニ急性及慢性下痢ニ稱用セラル、該葉ノ一〇〇、
○中單寧八、三樹脂一〇、一、鞣酸加爾叟二、七五ヲ含ム
ドクトル、ヒューゲルハ大人ノ吐瀉病ニ本藥ヲ投スル前一二

止下藥

回〇三ノ甘表ヲ與フルヲ可トセリ

(用法及用量)

- 一、「ヂャンボー」葉浸(五〇)八〇、〇單含二〇、〇每一時乃至二時間小兒ニ一茶匙ヲ與ヘ大人ニハ一食匙ヲ與フ
- 二、「ヂャンボー」葉流動越幾斯 一乃至二時間毎ニ小兒ニハ二十滴大人ニハ一茶匙ヲ與フ
- 三、「ヂャンボー」葉末 每一時乃至二時間〇、五ヲ小兒ニ與ヘ大人ニハ一〇ヲ與フ
- 四、「酒製」ヂャンボー「葉」丁幾 每一時乃至二時間小兒ニハ一乃至二茶匙大人ニハ一食匙ヲ與フ

〇「ヂャンブル」製劑 Jambul- Präparate

「ジチギウム、ジャンボラーヌム」ノ部ヲ見ル可シ

〇重炭酸曹達 Natrium bicarbonicum

創傷療法
瘰疽療法

ドクトル、ダラルギエウスキーハ本藥ノ二%水溶液ヲ創傷治療ノ最良藥トシテ例之瘰疽ニ稱用セリ、同氏ハ瘰疽ヲ切開シ排膿セシメタル後チ上記ノ溶液ニ浸セル綿帶ヲ以テ創面ヲ蔽ヒ其上ニ油紙ヲ置キ綿帶ヲ施セリ、是ニ由テ疼痛及排膿ノ速カニ減退スルモノニシテ同氏ノ實驗ニ由レハ是等ノ症ニ在リテ此簡單ナル處置ハ他ノ防腐的創傷療法ヨリモ有效ナル者トシ他ノ醫家モ亦此法ヲ賞讃セリ、之レ重炭酸曹達ハ防腐藥タルニ非ラス生理的綿帶ノ作用ヲ爲ス者ニシテ即チ防腐藥ニ反シテ本藥ハ細胞ヲ損害セス爲メニ玄微有機體ニ對シ細胞ノ防禦力ヲ弱メサルカ爲ナリトス

内用トシテ、プロフェツソル、ナウニユーン(ストラスブルグ府)

糖尿病性昏睡療法

ハ本藥ヲ糖尿病性昏睡 Coma diabeticum ニ稱用シ又昏睡ノ恐レアル者ニハ豫防藥トシテ投セリ

(用量) 糖尿病性昏睡ニ對スル内服量(プロフェツソル、ナウニユーン氏法)ニハ一日一〇、〇乃至一五、〇ノ重碳酸曹達ヲ與ヘ危險症狀ノ消散スル迄此分量ヲ用ヒ或ハ直チニ尿ノ中性若シクハ弱亞爾加里性トナル迄多量ヲ與ヘ然ル後尿ノ微酸性反應ヲ呈スル迄減量シテ尙ホ持長ス可シ、始メ尿ヲ亞爾加里性ト爲サンニハ一日八、〇乃至一〇、〇乃至一五、〇ヲ與フルヲ要ス、後チニ至リテハ通例増量ヲ要スル者ニシテ時トシテ一日三〇、〇ヨリ四〇、〇ヲ投シ又時トシテハ尙ホ大量即チ一日二五〇、〇乃至一〇〇、〇ヲ與フルコトアリ

ドクトル、ゲ、ゼ、シ、ミユルレルハ糖尿病患者ニ重碳酸曹達ヲ與

フルニ其不快味ノ爲メ次法ノ如クスルヲ稱揚セリ、即チ大ナル「コツブ」ニ一個ノ枸櫞搾汁ヲ入レ其「コツブ」ノ半ニマテ水ヲ加ヘ之ニ一茶匙ノ重曹ヲ投シ攪拌シテ沸騰中ニ嚙下セシム、但シ重曹ヲ加フルニ先チ甘味藥ヲ調和スルヲ得可ク勿論糖尿病患者ニハ「ザハリン」、「ツツケリン」若クハ「クリスタルローゼ」ノ如キ者ヲ與フ可ク一日二回本藥ヲ飲用スルハ患者ヲシテ極メテ爽快ナラシムルモノニシテ本療法ヲ終ルニ際シ患者屢々廢藥ヲ欲セサル者アリ、本療法ハ少ナクモ四ヶ月間持長スルヲ可トス

○鎮痛藥(最新) Schmerzstillende Mittel, neueste

第一 外用

一、「エビデルミン」(軟膏トス)

二、鹽酸「オイカイン、アルファ」

(二乃至十%軟膏トス)

三、鹽酸「ヘロイン」

(皮下注射及溶液トシ「タンボン」ニ浸シ用ユ)

四、「オルトフォルム」(十%軟膏トス)

五、「オルトフォルム、ノイ」(新オルトフォルム)

詳細ハ以上各藥品ノ條下及局所麻醉藥ノ部ヲ見ヨ

第二、内用

一、「アナルゲン」

二、「チオニン」(内用及皮下注射用トス)

三、純「ヘロイン」

四、鹽酸「ヘロイン」(内用及皮下注射用)

五、「オルトフォルム」(内用)

六、「オルトフォルム、ノイ」(内用)

七、「ピラミドン」

八、「ザロフェン」

詳細ハ以上各藥品ノ條下及神經痛療法及偏頭痛ノ部ヲ見ル可
シ

○沈靜藥(最新) Sedativa, neuste

一、「アンチツツシン」

(呼吸器ノ加答兒殊ニ百日咳ニ塗擦藥トス)

二、「チオニン」

(内用及注射用トシテ氣管枝加答兒及肺
癆ニ莫爾比涅ノ代用品トス)

三、「ヘロイン」

(肺癆ノ咳嗽發作及氣管枝性喘息ニ對シ莫爾比涅ノ代用品トシテ内服セシム)

四、「マラリン」(内用)

五、「ペロニン」(肺癆ノ咳嗽發作ニ用ユ)

○條蟲最新療法 Taenia-Mittel, neueste

一、條蟲「トリトール」

二、「アスピーチス、スピヌロージス」越幾斯

詳細ハ各藥品ノ條下ニ就テ見ル可シ

○「チオコール」 Thiocol

肺癆藥

本藥ハ六十%「グアヤコール」ヲ含有シ水ニ溶解ス可キ「グアヤコール」製劑ニシテ四分ノ冷水及一分ノ温湯ニ溶解シ無臭ニ

「ジロリン」

シテ初メハ多少苦味後ニハ甘味ヲ生スル乾燥結晶様赤白色無刺戟無害ノ粉末ヲ成シ殊ニ肺癆ニ稱用セラル、本藥服用ノ最良法ハ所謂「ジロリン」Sirolinト稱スル十%ノ「チオコール」橙皮舍利別ニシテ清涼ノ味ヲ有シ單味或ハ水、赤酒、又ハ牛乳ニ和シテ用ヒシム、而シテ一茶匙ノ「ジロリン」中ニハ〇、四ノ「グアヤコール」ヲ含有ス

(用量「ジロリン」) 大人ニハ一日三乃至四茶匙ヲ與ヘ小兒ニハ一乃至二茶匙ヲ與フ

(用量「チオコール」) 大人ニハ一回〇、五、一日一、〇乃至二、〇乃至四、〇

○「チオフォルム」(鹽基性「チオザリチール」酸「トスミット」) Thioform

防腐藥

本藥ハ無臭無刺戟普通ノ溶解藥ニ溶解セサル灰白黃色微細ノ粉末ニシテ亞爾加里ヲ以テ煮沸スレハ容易ニ分裂シ七十二%ノ酸化「ビスミット」ヲ含有ス

本藥ハ多ク粉末ノ儘用ヒラレ例之火傷創面、下腿潰瘍、及分泌過多ノ結膜炎ニ撒布藥トス、齒科ニ於テハ拔齒後ノ創面防腐藥トシ又搔抓セル齒腔ヲ填充シ十乃至二十%刺納林或ハ「ワゼリン」軟膏トシテ濕疹ニ用ヒ又腸加答兒ニ内服セシム

(用量) 大人ニハ一日三回〇.三乃至〇.五ヲ與フ

○「チオール」 Thiol

「イヒチ
オール」
代用藥

本藥ハ十%硫黃ヲ加ヘ純「バラフキン」油ヲ熱シ製シタル者ニシテ惡臭アル「イヒチオール」ノ無臭代用品ナリ、而シテ本品ハ

水分ヲ吸收ス可キ作用ヲ有シ且無害ニシテ越幾斯及乾燥品トシテ販賣セラル

- 一、流動「チオール」無臭ニシテ水ニ溶解シ其用法及作用ニ於テハ全ク「イヒチオール」ト同一ニ例之婦人科ニ於テハ「タンボン」ニ浸シ用ヒ其他炎性部及浸潤部ノ膿ヲ排泄セル後例之膿瘍及「カルブンケル」ノ如キ者ニ用ユレハ止痛作用ヲ呈シ、又五乃至十%軟膏及罌法トシテ濕疹ニ稱用セラル
- 二、乾性「チオール」無臭暗褐色ノ粉末ニシテ水ニハ殆ント溶解セサルモ亞爾簡保兒ニハ五乃至六%、「グリセリン」ニハ七、五乃至八%ノ比例ニ於テ溶解シ專ラ撒布藥トシテ紅疹、濕疹等ノ皮膚病ニ稱用セラル

○「チオジナミン」 Thiosinamin

硬皮症
療法

本藥ハ僅ニ水ニ溶解シ亞爾箇保兒及依的兒ニハ輒ク溶解スル無色結晶體ニシテヘブラ(維納府)ハ皮下注射トシテ硬皮症ニ稱用セリ、該法ヲ以テ治療セル三名ノ患者ハ著シク輕快シ其二名ハ二十四回ノ注射後他ノ一名ハ既ニ四回ノ注射後輕快ヲ覺エタリ、本藥ノ效用ハヘブラ及ゲルトネルノ實驗ニ由レハ淋巴行ヲ抑制スル作用ニ基因スル者ナリト云フ

(皮下注射法)ヘブラハ十五%亞爾箇保兒溶液ノ半筒ヲ隔日ニ肩胛部ニ注射セリ、此際注射ハ表在性ナラサルヲ要ス、然ラサレハ眞皮ニ限局性壞疽ヲ發現スルコトアリ、注射部ハ初メ發赤腫脹シ局部ノ運動ニ際シ殊ニ知覺過敏ナルモ一二時間ヲ經レハ潮紅消散シ腫脹減退スル者トス

○乾性「チユレオイゲン」Thyreoidin siccum

甲狀腺製劑ノ部ヲ見ヨ

○「チユロヨゲン」Thyroidin

沃度「チユリン」ノ部ヲ見ヨ

○腸窒扶斯最新療法

Typhus abdominalis-Mittel, neueste

- 一、腸窒扶斯治療越幾斯 (内用)
 - 二、腸窒扶斯治療血清 (皮下注射用)
 - 三、「カロメル」(甘汞) (内用)
 - 四、「ヒナフトール」(内用)
 - 五、阿列布油 (初メ浣腸藥トシ後ニハ内服ス)
 - 六、「タンノビン」「タンノン」
- (窒扶斯性下痢ニ内用セシム)

詳細ハ以上各藥品ノ條下ニ就テ見ル可シ

○直腸「タンボン」 Mastdarm-Tampon

該「タンボン」ハドクトル、ウエー、マナツセーノ攝護腺肥大及ヒ脱腸ニ稱用スルモノナリ

(用法) 先ツ直腸内ヲ清潔ニ洗淨シ次テ護謨球内ノ空氣ヲ驅除シタルモノニ能ク油ヲ塗り徐々ニ肛門内ニ挿入シ球端ヲ攝護腺ノ下縁ニ觸接スルニ至ラシメ普通ノ注射器ヲ以テ「タンボン」内ニ「グリセリン」ヲ注入シ餘リ緊張セサル様ニ適度ニ「タンボン」ヲ膨脹セシメテ後チ壓栓ヲ以テ護謨管ヲ閉鎖ス、之ヲ除去スルニハ先ツ壓栓ヲ去リ「グリセリン」ヲ流出セシメ器械ヲ牽出スルモノトス

○「チノール」 Zinol

亞鉛「アルムノール」ノ部ヲ見ヨ

○「チュラデン」 Thyraden

甲狀腺製劑

本藥ハ甲狀腺ノ粉末形越幾斯ニシテ其一分ハ新鮮腺體ノ二分ニ匹敵シ其一瓦蘭中精密ニ〇、〇〇七ノ沃度ヲ含有ス
(用量) 一日一、〇乃至三、〇乃至五、〇ヲ丸藥或ハ錠劑トシテ與フ

りノ部

利尿藥(最新) Diuretica, neueste

- 一、樺樹葉茶
- 二、「ヂウレチン」
- 三、「ヒドラコギン」

四、「リチエトール」

五、乳酸

以上各藥品ノ部ヲ見ヨ

○**磷酸鹽尿最新療法** Phosphaturie-Mittel, neueste

「ウロトロピン」ノ部ヲ見ヨ

○**燐中毒(急性)** Phosphor-Vergiftung, acute

過満俺酸那篤留護ノ部ヲ見ヨ

○「リチネ」油 Ricinusöl

「ヒマシ」油ノ部ヲ見ヨ

○「リチネ油、トリトール」 Ricinus-Tritol

本薬ハ六七%「ヒマシ」油及ヒ二三%芳香「マルツエキス」ヨリ成
リ微細ニ分配セラレテ水ニ溶解ス可キ乳劑ヲ形成シ佳味ナル

「ヒマシ」
油代用
薬

「ヒマシ」油ノ代用品タリ

(用量)「ヒマシ」油ト同量ヲ用ユ可ク而シテ效能尙ホ速カナリ
トス

○**淋疾最新療法** Gonorrhoe-Mittel, neueste

一、「ビール」醱酵素 (婦人ノ慢性淋疾ニ用ユ)

二、「ゴノロール」 (男子ノ淋疾ニ内服セシム)

三、「イトロール」 (男子ノ急性淋ニ用ユ)

四、「イトロール」桿

五、「ラルギン」

(男子淋疾ノ各期ニ用ヒ又急性及亞急性
ノ女子淋疾ニ用ユ)

六、「プロタルゴール」

(男子ノ急性淋ニ用ヒ又淋疾傳染ノ豫防薬トス)

七、「プロタルゴール」桿

八、「ザロサントール」

(男子ノ淋疾及膀胱炎ニ内服セシム)

九、亞鉛「アルムノール」

(淋疾性ノ慢性白帶下ニ用ユ)

以上各藥品ノ條下ニ就テ見ル可シ

○「リヤントラール」Liantral

「カゼイン」軟膏ノ部ヲ見ヨ

○「リグノズルフキツト」Lignosulfit

本薬ハ「セルローゼ」製造ニ際シ副生産物トシテ得ラル、液體

ニシテ器物ニ盛り蒸發セシメ肺結核患者ニ吸入セシムル者ナリ

○「リナジン」Linadin

脾臟製劑ノ部ヲ見ヨ

○「リチエトール」Lycetol

(酒酸「ヂメチールビペラチン」)

痛風藥
腎石疝
尿砂藥

本薬ハ水分ヲ引カサル者ナルヲ以テ極メテ水分ヲ引キ易キ「ビペラチン」ノ良好ナル代用品トシテ痛風、腎石疝、尿砂等ニ稱用セラル(但シ磷酸鹽尿ニハ禁忌ス)

(用法) 大人ニハ水溶液トシテ又ハ少許ノ白糖ヲ加ヘテ一、〇乃至一、五ヲ一回ニ與ヘ、一日一、〇乃至三、〇ヲ投ス、而シテ少ナクトモ三週間ノ持長ヲ要ス

○淋巴腺腫脹 Lymphdrüsen-Schwellung

一、腺病療法

二、銀軟膏(クレーデ氏)

以上ノ各條下ヲ見ヨ

○結核性淋巴腺腫療法

Lymphdrüsen-Tumoren, tuberculöse

「トエクリン」ノ部ヲ見ヨ

○「リゾール」Lysol

該品ハ黃褐色鮮明輒ク水ニ溶解シ之ヲ振盪スレハ強ク泡沫ヲ生スル油様ノ液體ニシテ防腐ノ效ヲ有ス、ドクトル、ウオペリウスハ癌腫ニ本藥ノ内服ヲ稱揚セリ、即チ同氏ハ沃剝ノ内用ト交代性ニ數月間若クハ年餘ニ互リテ服用セシメ好果ヲ得タ

癌腫療法

ル多クノ實驗ヲ報告セリ

ドクトルペーテルスハ一二ノ乳癌及頸腺癌ノ數回再發シテ手術シ能ハサル者或ハ患者ノ手術ヲ肯セサル場合ニ五%「リゾール」ワゾゲン「軟膏」ヲ塗擦藥トシテ應用セリ、此際又同時ニ「リゾール」ヲ内服セシメタル「アリシ」ニ比較的良好ノ成績ヲ得タリ、即チ疼痛ハ著シク減少シテ麻醉藥ノ服用ヲ要セス、又疾病ノ進行ハ極メテ徐々ニシテ時ニ抵止シ體重ノ増加ヲ見ルニ至レリ、若シ患者胃病ノ爲メニ「リゾール」ノ内服ヲ命ス可ラサル場合或ハ其不快味ノ爲メニ患者内服ニ堪ヘサル場合ニハ單ニ塗擦藥ノミヲ以テ足レリトス、其他ペーテルスハ癌腫患者ニ肉類及鶏卵ヲ全ク與ヘサリシト

「リゾール」塗擦療法 癌腫患者ニ「リゾール」ワゾゲン「軟膏」ノ

塗擦ヲ行フニハ純「ワゾゲン」九五、〇、「リゾール」五、〇ヨリ成ル軟膏ヲ毎日朝夕其一乃至二茶匙ヲ全身ニ能ク塗擦ス可シ、此方法ヲ四週間持長(同時ニ「リゾール」ヲ内服セシム可シ)シタル後其塗擦ヲ止メ之ニ代フルニ沃度那篤留謨ノ内服ヲ命ス、即チ沃曹五、〇乃至一〇、〇餉水一五〇、〇ヲ一日三回乃至四回一食匙宛ヲ與フ、此服用ヲ四週間命シタル後再ヒ四週間「リゾール」ノ塗擦ヲ初メ次テ再ヒ沃曹ヲ内服セシメ該療法ヲ數月間或ハ年餘ニ互リ持長セシム可シ

(リゾール内服療法) 癌腫患者ノ大人ニ於ケル用量ハ四週間毎日二回半茶匙ノ「リゾール」ヲ一杯ノ牛乳ニ和シ漸次増量シテ一日四回二茶匙ノ「リゾール」ヲ二杯ノ牛乳ニ混シ毎回食後徐徐ニ服用セシムルヲ可トス、次ニ「リゾール」塗擦療法ノ部ニ述

癩風藥

ベシ如ク沃曹液ノ内用ヲ初メ又再ヒ四週間「リゾール」ヲ内服セシメ後更ニ沃曹液ヲ與フ、如此交換シツ、數月間或ハ一年以上兩藥ヲ交互ニ服用セシム可シ

ドクトル、レウキーハ癩風ニ「リゾール」ヲ特效藥トシテ稱用セリ、即チ一日一回三日間毎朝「リゾール」ヲ患部ニ塗擦セル後其翌日ニ至リ半%乃至一%ノ弱「リゾール」液ヲ以テ胸部ヲ洗滌シ次テ「リゾール」塗擦ヲ施セル後清淨ノ衣服ヲ着セシムレハ八日ニシテ癩風全ク消散スルヲ見ル可シ、此際疼痛又ハ他ノ刺戟症狀ヲ絶エテ見ルヲナシト云フ

○磷酸グリセリン「那篤留謨」

Natrium-glycerino-phosphoricum.

該品ハ各比例ニ於テ水ニ混和ス可キ黄色ノ液體ニシテドクト

神經衰弱藥

「ヒステ
リー」薬

ル、マツクス、カハーネハ神經衰弱及「ヒステリー」ニ有效
ニシテ且無害ノ強壯薬トシテ稱用セリ

處方

- 磷酸、グリセリン、ナトリウム 二五、〇
- 餾水 五〇、〇
- 橙花水 五〇、〇
- 橙皮舍利別 二〇、〇

右一日三乃至四回食後ニ一食匙ヲ與フ

(皮下注射用量) 磷酸、グリセリン、ナトリウム「一分ヲ五分ノ生
理的食鹽水ニ溶解シ一日ニ其一、〇ヲ注射ス

○磷酸那篤留謨 Natrium phosphoricum

蕁麻疹
薬

ドクトル、ウオルフハ蕁麻疹ニ本薬ノ内服ヲ稱揚セリ、即チ

(リ)ノ部

一三三

鎮嘔吐
薬

一回量四、〇乃至五、〇ヲ水溶液トシテ一日數回服用セシム、慢
性症ニ在テハ只タ毎食後ニ服用セシメ症状ノ全ク消散スル迄
持長セシムル者トス(本薬ハ又弱キ下劑ノ效ヲ有ス)

○硫酸那篤留謨 Natrium sulfuricum

ドクトル、ホーフリヒテルハ數年間嘔吐ノ各症ニ芒硝ヲ次ノ
合劑トシテ用ヒ好結果ヲ得タリト云フ

處方

- 芒硝 五、〇
- 芳香丁幾 三、〇
- 單舍利別 一五、〇
- 餾水 二〇〇、〇

右每一時間ニ一食匙宛ヲ與フ

(リ)ノ部

一三三

小兒ニ在テハ芒硝及芳香丁幾ノ量ヲ年齢ニ應シテ減量ス可シ、禁忌ハ炎性及潰瘍性腸疾患ナリトス(インゲストール)ノ部ヲ参照ス可シ)

○「緑内障最新療法」 Glaucom-Mittel, neueste

「イヒタルビン」(内服)ノ部ヲ見ル可シ

○「リパニン」 Lipanin

肝油代用品

本藥ハ一部分ノ鹼化機能ニ由テ六%ノ遊離油酸ヲ含有スル橄欖油ニシテ同油ノ如キ外觀及味ヲ有シフワン、メーリングハ肝油代用品トシテ之ヲ稱用シ小兒ハ好ンテ之ヲ用ヒ且能ク其服用ニ堪ユルモノナリ

(用量) 大人ニハ二乃至五食匙小兒ニハ一乃至四茶匙ヲ與フ

ぬノ部

○「ヌトロール」 Nutrol

本品ハ滋養液體ニシテ澱粉、消化酵素及鹽酸ヨリ成ルモノナリ

○「ヌトローゼ」 Nutrose

本藥「カゼイン」(那篤留護)ハ溶解シ易キ無味ノ粉末形ナル營養品ナリ

(用量) 本藥一茶匙ヲ「ソップ」(琲珈、茶、牛乳、赤酒等)ニ混シ與フ

るノ部

○「ルース」芳香流動越幾斯

營養品

遺尿療法

Extractum Rhois aromaticaе Fluidum

本品ハ「ルース」アロマチーカノ根皮ヨリ製シタル者ニシテ
ドクトル、フラキベルゲルハ小兒ノ遺尿症ニ稱用セリ其
治療日數ハ平均四十日間ヲ要ス、而シテ多クハ治療ノ第七
日目ヨリ輕快ノ徵ヲ呈スルモ稀ニハ二三日間持續スル増悪ノ
徵ヲ呈スルコトアリ、ドクトルフライベルゲルノ説ニ由レハ
治療ハ永久的ナリト

(用量) 二乃至五年ノ小兒ニハ五乃至十滴、五年乃至十年ノ小
兒ニハ十乃至十五滴、十歳以上ノ小兒ニハ二十滴ヲ與フ

處方

「ルース」芳香流動越幾斯

十滴

芳香舍利別

二十滴

餽水

四〇

右一回量トシ一日二回内服セシム

をノ部

○鹽酸「オイカイン、アルファ」

Eucainum hydrochloricum Alpha

局處麻酔藥

本藥ハ局所麻酔藥ニシテ一乃至六%ノ水溶液トシテ外用
ニ供セラレ皮下注射ニハ一乃至十%ノ水溶液トナシ古加因
ノ代用藥トシテ應用セラル

(用量) 一回〇・〇五又一日〇・一五ヲ極量トス

プロフェツソル、リブライヒハ瘙痒ノ塗擦藥トシテ次
ノ處方ヲ稱用セリ

鹽酸「オイカイン、アルファ」

一、〇

「メントール」

〇、二

「オレーフ」油

二、〇

「ラノリン」

一〇、〇

○鹽酸「オイカイン、ベータ」

Eucainum hydrochloricum Beta

眼科用
局所麻
酔藥

本品ハ白色結晶様粉末ニシテ「オイカイン、アルファ」并ヒニ古加因及「トロバコカイン」ニ近似ノ化學的關係ヲ有シ凡ソ三、五分ノ冷水ニ溶解シ其溶液ハ中性反應或ハ弱亞爾加里性反應ヲ呈シ煮沸ニ由テ消毒ス可ク、ドクトル、ジレツクス(伯林)ハ殊ニ眼科上ニ本藥ヲ賞用セリ、何トナレハ本藥ハ「オイカイン、アルファ」ノ如ク結膜ニ刺戟ヲ與ヘス只僅カノ場合ニ於テノミ僅

微ノ刺戟ヲ與フルニ過サレハナリ、二分時間中ニ二%「オイカイン、ベータ」水溶液ノ二滴ヲ點眼セシニ角膜ノ麻痺ハ一乃至三分時間ノ後ニ起リ十五分乃至二十分時ニシテ消失セリト云フ

ドクトル、ジレツクスハ「プロフェツソル、シユワキゲル」ノ伯林大學眼科「クリニツク」ニ於ケル實驗報告ヲ次ノ如ク爲セリ

古加因ヲ點眼スルトキハ血管ヲ收縮セシメ鞏膜ハ貧血ノ爲メ一般白色ヲ呈スルニ至ルモ「オイカイン」ヲ點眼シタル眼球ニ在テハ唯其半數ニ於テノミ微妙ナル角膜周圍ノ充血ト結膜血管ノ擴張ヲ呈セリ、是等ノ症候ハ常ニ極メテ輕度ニシテ患者ハ之カ爲メ少シモ不快ノ感ヲ覺ユルコトナク能ク麻痺ノ效ヲ奏スル者トス、該藥ハ全ク局所作用ヲ呈スル者ニシテ古加

因ニ於ケルカ如クミユルル氏筋及瞳孔ニ作用ヲ與ヘス、故
ニ瞳孔ハ其大サヲ變スルコトナク括約筋ハ光線及調節ニ對シ
テ即時ニ反應シ二十分間點眼シテ強度ノ麻痺ヲ起サシメタル
三例ニ於テモ極微ノ瞳孔散大ヲモ來スコトナク眼調節機能
ハ此際少シモ障害ヲ受サリシ、眼内壓ニ關シテジレツクス
ハ健康眼ニ三十回ノ試験ヲ施セルモ一モ證明シ得サリシト
云フ

ジレツクスハ角膜ノ異物、其上皮缺損、角膜潰瘍、強度ノ刺戟ヲ
有スル角膜實質炎、上鞏膜炎及虹彩炎等ニ本藥ヲ使用セリ、角
膜ノ異物ヲ除去スルニ際シジレツクス及他ノ同僚ハ古加因ヲ
用ヒタル場合ヨリモ患者ノ知覺稍々減少セルヲ見タリト云
フ、上鞏膜炎ニ食鹽注射ヲ施スニ際シ局所麻酔トシテ本藥ヲ

二回點眼セシニ疼痛ヲ覺エズシテ容易ニ之ヲ行フヲ得タリ
ト、又四例ノ角膜潰瘍モ容易ニ焼灼セラレタリ、時トシテ發現
セル眼球強度ノ充血モ患者ニ不快ヲ與フルコトナク且手術者
ニ困難ヲ與ヘサリシト、要スルニ本藥ノ治療上效驗ハ古加因
ニ於ケルト同一ナリトス

虹彩炎ノ如キ眼球前半部ニ強度ノ充血ヲ起セル患者ニハ、オ
イカイン¹ヨリモ寧ロ古加因ヲ用ユルヲ良トス、之レ古加因ノ
點眼ニ因スル貧血ハ患者ニ快感ヲ與フルヲ以テナリ、又此場
合ニ於テ古加因²、アトロピン³合劑ハ、オイカイン、アトロピン⁴
合劑ニ勝レリトス

白内障手術ニ際シ術前十分間ニ六滴ヲ點眼シタルニ多クノ場
合ニ於テ充血ヲ來サス他ノ場合ニ於テハ唯僅ニ充血セシノミ

ナリシト

何レニシテモ「オイカイン、ペーダ」ハ眼科上稱用ス可キ藥品ニシテ且ツ古加因ヨリモ廉價ナルノ益アリトス

(用量) 二分時間中ニ二%溶液ノ二滴ヲ點眼ス可シ

○「オイヒニン」 Euchinin

規尼涅
代用藥

(小兒科
ニ適ス)

「マラリ
ヤ」藥

本藥ハ規尼涅ノ新劑ニシテドクトル、フオン、ヌールデン及ドクトル、エム、オーベルラツハハ殆ンド無味ナル規尼涅ノ代用品トシテ殊ニ小兒科ニ於テ稱用シ、グレー及レウドウキクツハ又「マラリヤ」ニ應用セリ

(用法) 乾燥セル本品ヲ口内ニ取り水ヲ以テ嚥下セシム可シ、或ハ「オブラート」ニ包ミ與フルモ可ナリ

(適應症及用量) 規尼涅ニ同シ、ビアンヒーハ間歇熱ニ每四時

百日咳
療法

間○、五及發作前二時間ニ○、五ヲ與フルヲ稱揚セリ

其他ドクトル、カツセルハ本藥ノ規尼涅ニ伴フ如キ不快ノ副作用ヲ有セサルヲ以テ屢々百日咳患者ニ應用セリ、合併症ヲ見サル場合ニ於テハ本藥服用後發作數著シク減少スルモノニシテ之ヲ持續スレハ發作漸次ニ輕度トナリ遂ニ治癒スルニ至ル、而シテ百日咳ニ於ケル嘔吐ハ二三日後ニ止ミ、夜間ノ發作減少シ且ツ其發作ハ短時間トナリ病症ハ一般ニ緩和輕快シ小兒ハ速ニ氣力ヲ加ヘ全經過ヲ短縮ス、然レトモ熱ヲ伴ヒ且合併症アル者ニ於テハ本藥ノ效驗顯著ナラス、用量ハ小兒ノ年齢ニ應シテ一日○、五乃至一、○ヲ與ヘ糖水又ハ牛乳ニ混シ容易ニ小兒ニ服用セシムルヲ得可シト

○「オイデルモール」 Eudermol

「ニコチン」石鹼ノ部ヲ見ヨ

○「オイラクトール」Eulactor

新營養品ナリ

○「オイナトロール」Eunator

膽汁分泌
促進
藥
膽石療
法

化學的純粹ノ油酸那篤留膜ニシテ不快ナラサル味ヲ有スル白色ノ粉末ナリ、之レニ温ヲ加フレハ水及亞爾箇保兒ニ殊ニ容易ク溶解ス、ドクトル、エフ、ブルームハ膽汁分泌ヲ持續性ニ促進セシム可キ有效藥ニシテ又膽石ニ因スル疾病ニ對シ有害ノ副作用ヲ呈セサル良藥トシテ稱用セリ

(用量) ドクトル、ブルームハ一日二回一、〇ヲ朝夕食後ニ與ヘ數週間又ハ數月間持長セリ

○「オイロビン」Eurobin

「クリザ
ロビン」
代用藥

乾癬藥

本品ハ刺戟強キ「クリザロビン」ノ最モ適當ナル代用藥ニシテ又之ヨリモ弱ク作用スル「レニコビン」ニモ勝レリトス、該藥ハ赤黄色ノ粉末ニシテ水ニ溶解セス「哥囉仿謨」依的兒及「アチエトン」ニ容易ク溶解スル者ニシテ「ドクトル、ハー、ポットスタイン」及「ドクトル、アー、ブラシユコー」ハ有效ニシテ且刺戟少ナク僅ニ衣服ヲ汚染スル處ノ「クリザロビン」代用藥トシテ稱用セリ、(顔面ニ應用スルニ際シ本品ノ眼ニ入ラサル様注意ス可シ)新鮮ナル乾癬(ブソリアジス)ノ殆ント凡テノ症ニ於テ五%「オイロビン」軟膏ヲ用ユレハ痂皮ハ一二週ニシテ消散スルモノトス

(用法) 二乃至五%ノ軟膏トシテ用ユ、塗擦劑ニハ「オイロビン」一、〇乃至二、〇「アチエトン」或ハ「哥囉仿謨」適宜乃至一、〇、

軟性下
疳藥

○「オイロフェン」Europhen
本品ハ近來軟性下疳初期ノ分泌過多ナル者ニ稱用セラ
ル、即チ硼酸末及「オイロフェン」等分ヲ混シタル者或ハ硼酸末
一〇〇及「オイロフェン」五〇ノ合劑ヲ用ユ、此際硝酸銀ヲ以
テ肉芽面ヲ輕ク腐蝕スルヲ良トス、而シテ分泌ノ減少セルニ
於テハ單ニ「オイロフェン」ヲ用ユ可シ

○横痃療法(最新) Bubonen-Mittel, neueste

可溶性安息香酸酸化汞 (注射藥)

生理的食鹽水 (注射藥)

以上各藥品ノ部ヲ見ヨ

○鹽酸「オイフタルミン」

新瞳孔
散大藥

Euphthalminum hydrochloricum

新瞳孔散大藥ニシテ冷水ニ容易ク溶解ス可キ無色結晶様
ノ粉末ナリ、其二%ノ溶液ヲ瞳孔散大藥トシテ用ヒ而シテ其
散大ハ中等度ニ止マリ、該液ノ二三滴ヲ點眼セル後二十分乃
至三十分ニシテ作用シ二乃至三時間ノ後全ク消散ス、又點眼
後ニ疼痛又ハ他ノ不快ナル副作用ヲ呈セス、且ツ二%ノ溶液
ヲ應用スルモ少シモ調節機能ヲ害スルコトナシ、故ニ本藥ハ
專ラ瞳孔狹小ニシテ精密ナル眼底検査ヲ困難ナラシムル時ニ
際シ眼底検査用トシテ用ヒラル、此場合ニ於テ瞳孔ハ速ニ一
時性反應ヲ呈シ且調節機能ノ害セラレサルヲ以テ最モ適當ナ
リトス、ドクトル、パウエル、シユナイデルハ五%ノ溶液ヲ常ニ應
用セリ

腸室扶
斯藥

○橄欖油 *Oleum olivarium*

ドクトル、ヲ、エフ、ボーゼーハ百人以上ノ腸室扶斯患者ニ
本藥ヲ次法ノ如ク試用シ一回モ不良ノ轉歸ヲ來サス悉ク良效
ヲ收メタリ、即チ一日一回乃至二回一二五〇乃至二五〇〇ヲ
一回ニ浣腸シタルニ爾後患者ノ著シク安靜トナルヲ見タリ、
若シ後ニ至リ諸症再ヒ増悪ノ徵アラハ前量ヲ内服セシム可
シ、第五日日後ニ於テハ單ニ前量ヲ隔日ニ與フ可キ者トス

○惡阻療法 *Hyperemesis gravidarum*

- 一、鹽酸「コカイン」(子宮頸部ノ局處藥トス)
- 二、「アレキシシン、バーゼ」(内用)

以上各藥ノ條下ニ就テ見ヨ

○單寧酸「アレキシシン」 *Orexin tannicum*

健胃藥

本藥ハ黃白色無臭殆ント無味ノ粉末ニシテ水ニ溶解セサルモ
胃液ノ如キ稀薄酸類ニ溶解シ鐵劑ニ逢フモ黒染スルコトナク
無害ノ健胃藥トシテ殊ニ小兒ノ食思缺亡症ニ稱用セ
ラル

(用量) 小兒ニハ〇、五ヲ「オブラート」ニ入レ或ハ砂糖又ハ水ニ
混シ一日二回食前二時間ニ與ヘ少ナクモ五日間持長セシム

○「アレキシシン、バーゼ」 *Orexin-Base*

惡阻療
法

本藥ハ殆ント水ニ溶解セサル白色微細粉末ニシテ頑固ナル
惡阻ノ有效藥トシテ稱用セラル

(用量) 一日一乃至三回〇、三乃至〇、五ヲ「オブラート」又ハ「カ
プセル」ニ入レ與フ(時トシテハ第一回ノ服用後嘔吐ヲ催スコ
トアリ)

止下藥

○「オルフオール」Orphol

本藥ハ二十六、五%ノ「ベータ、ナフトール」及七十三、五%酸化「ピスミット」ヲ含有シ腸管防腐藥殊ニ結核性下痢及小兒下痢ニ無害有效藥トシテ稱用セラレ水ニ溶解セサル灰白色ノ粉末ニシテ僅微ノ香氣アリテ不快ナラサル臭味ヲ有ス

(用量) 大人ニハ食後毎二時間ニ〇、五乃至一、〇ヲ與ヘ小兒ニハ〇、二乃至〇、三ヲ與フ、滿一ヶ月ノ小兒ニハ一日二、〇乃至三、〇稍ヤ成長セル小兒ニハ一日三、〇乃至五、〇ヲ牛乳ニ混シ與フ

○鹽基性「オルトフォルム」

Orthoform basicum

プロフェツソル「アインホルン」及ドクトル、ハイנטツノ兩氏ハ

局所麻酔藥

本藥ヲ無毒ニシテ且防腐作用ヲ有スル局所麻酔藥トシテ稱用セリ

該藥ハ化學上古加因ニ類似スル化合物ニシテ能ク保存セラル可ク少量ノ水ニ徐々溶解シ無臭無味且徐々ニ吸收セラル可キ微細白色ノ粉末ナリ、總テ「オルトフォルム」鹽類ノ水溶液ハ皆ナ酸性反應ヲ呈スルカ故ニ例之眼ノ如キ知覺過敏ノ部位及皮下注射ニハ應用ス可カラス

(用法) 本藥ハ只タ暴露セル神經末端ニ止痛ノ效ヲ奏スル者ニシテ用藥後三乃至五分間ヲ經テ效驗ヲ現ハシ三十時間持續スル者トス、本品ノ十%軟膏ハ痒疹ニ發スル瘡痒刺戟及帶狀「ヘルペス」ニ原因スル神經痛ニ用ヒラレ又植皮術ニ際シ皮膚ヲ剝離セル部位ニ減痛藥トシテ使用セラル、其他重症火

傷ニ粉末或ハ軟膏トシ又破潰性癌腫、下腿潰瘍及喉頭潰瘍ニ撒布薬トシ、ドクトル、カール、カツセルハ喉頭潰瘍ニ粉末撒布ニ換フルニ乳劑ノ注射ヲ稱用セリ、即チ「オルトフォルム」ニ二十五分阿列布油百分ノ合劑ヲ普通ノ喉頭注射器ノ末端膨大セル者ヲ以テ注入セリ、近來ニ至リカツセルハ喉頭結核ニ新「オルトフォルム」ノ吹入ヲ稱用ス、之レ本薬ハ結塊ヲ生セシテ能ク吹入ニ適スルカ爲メナリ、エツセンハ濕潤セル綿球ニ「オルトフォルム」ヲ多量ニ附著セシムルカ或ハ「オルトフォルム」齒綿ヲ齒周圍炎ニ罹レル齒ヲ拔去セル後チ起レル劇痛ニ稱用セリ、ドクトル、リヒトウキツチハ枯草熱ニ對シ兩鼻腔ニ「オルトフォルム」ノ吹入ヲ賞讃シ、ドクトル、ノイマイエルハ胃潰瘍及胃癌ノ止痛薬トシテ内服ヲ稱

セ揚リ

〔用量〕(鹽基性「オルトフォルム」及溶解シ易キモ多少刺戟性アル鹽酸「オルトフォルム」ノ用量大人ニハ〇.五乃至一.〇ヲ一日數回水ヲ以テ内服セシメ一日量三乃至四.〇トス

十%「オルトフォルム」、ソゼリン、二十%(滑石及澱粉ヲ加フ)「オルトフォルム」撒布薬、十%「オルトフォルム」、ガーゼ、十%「オルトフォルム」齒綿、十%「オルトフォルム」綿等ノ諸製劑アリ

○「オルトフォルム、ノイ」(新「オルトフォルム」

Orthoform „neu”

局所麻酔薬
止痛薬

本薬ハ舊「オルトフォルム」ヨリモ廉價ナル微細白色全然無毒ノ粉末ニシテプロフェツツル、クラウスチルハ滑石或ハ澱粉ヲ加ヘ十乃至二十%ノ合劑トシテ用ユレハ十八時乃至三十六

鎮齒痛藥

時間持續スル麻醉作用ヲ與フル者トシテ例之喉頭潰瘍及枯草熱、角膜潰瘍ニ外用シ(角膜潰瘍ニハ止痛藥トシテ五%軟膏ヲ用ユ)齲齒ノ搔抓ニ際シ(此際「オルトフオルム」粉末ヲ以テ充填シ翌日迄空洞ヲ假リニ閉鎖ス可シ)又暴露セル炎症齒髓ニ減痛藥トシテ用ヒラレ(此際粉末或ハ亞爾箇保兒ニ溶解セル者ヲ綿球ニ浸シ齒腔ニ挿入ス可シ)并ニ拔牙後ノ止痛藥トシ又手術ス可カラサル癌潰瘍ノ防臭及止痛藥ニ二十%軟膏或ハ撒布藥トシテ外用シ其他内服ニハ胃潰瘍ニ一回一〇ヲ投セリ

○「オワヂン」Ovadin

卵巢製劑ノ部ヲ見ヨ

○「オキサフオール」Oxaphor

吸呼困難藥

「オキシカンフル」

「オキシカンフル」ノ部ヲ見ヨ

○「オキシカンフル」Oxykampher

本藥ハドクトル、マナツセーノ創製セル者ニシテ冷水ニハ二%ノ比例ニ温湯ニハ尙ホ容易ニ溶解ス可キ白色結晶様粉末ナリ、其溶液ハ弱苦味ト弱胡椒様臭味ト有ス、而シテ本藥ハ呼吸器ノ興奮力ヲ減セシムルカ故ニ(神經中樞ニ作用セス)吸呼困難ヲ起ス疾病ニ效アリ例之瓣膜病等ニ於テハ平穩緩徐ノ呼吸ヲ來サシメ且適量ヲ用ユルモ有害ノ副作用ヲ招來セザル者トス

現今本藥ハ唯々五十%亞爾箇保兒溶液トシテ「オキサフオール」Oxaphorナル名稱ヲ以テ販賣セラル、是レ「オキシカンフル」ハ固形體トシテ分解セスニ久シク貯藏シ能ハサルカ爲メ